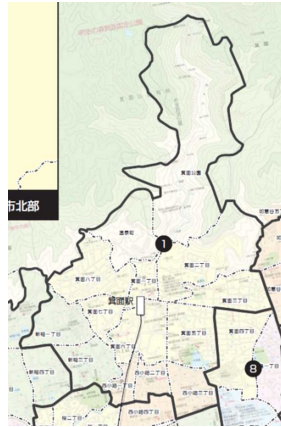


◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅勢圏（箕面駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：箕面1～3、箕面5～8、新稲1、新稲3、西小路1～3、温泉町、箕面公園
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：阪急箕面線（箕面駅）
 - 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：328件



②基礎情報

②-1. 性別

◆「男性」が約39%、「女性」が約61%である。

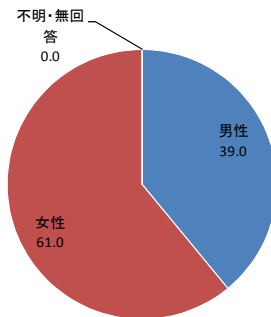


図 回答者の性別

②-2. 年代

◆「60歳代」が約20%で最も多く、「40歳代」と「70歳代」が共に約18%、「50歳代」が約15%、「10～30歳代」があわせて21%である。

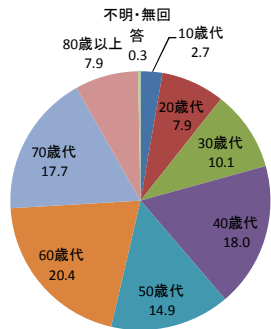


図 回答者の年代

②-3. 職業

◆「会社員、公務員、団体職員」が約30%、「専業主婦(夫)」が約21%、「無職」が約20%、「アルバイト・パート」が約11%である。

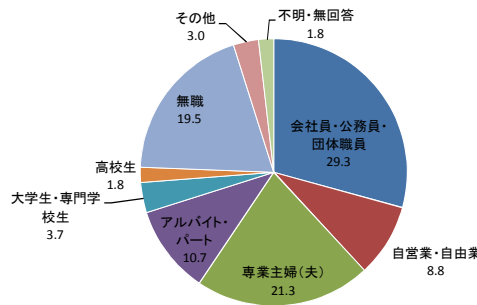


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

◆「通勤」が約77%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約23%、「その他(市外)」が約74%である。
◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

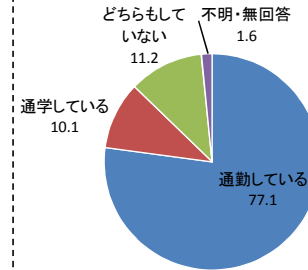


図 通勤・通学の有無

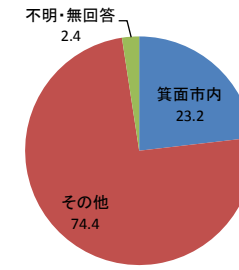


図 通勤・通学の行き先

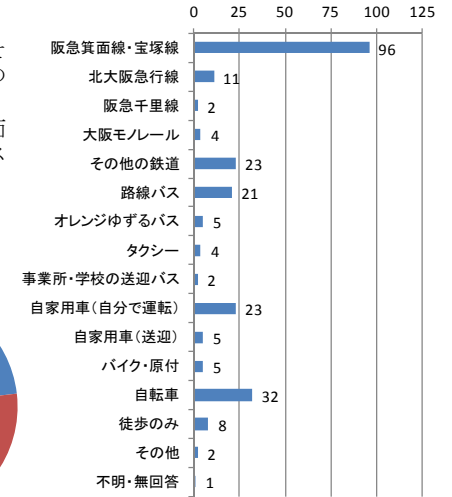


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約20%、「週に数回」が約51%、「月に数回」が約18%である。
◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

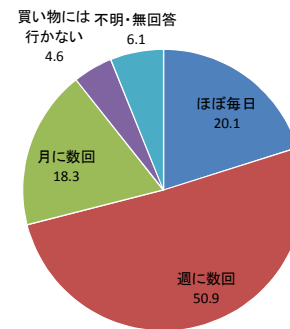


図 日常の買い物の頻度

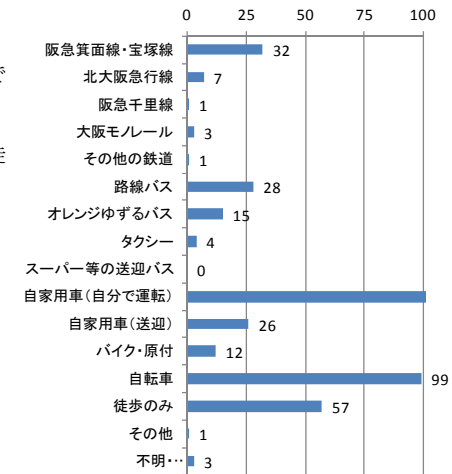


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

- ◆「大変満足」、「やや満足を合わせる」と、①情報提供、⑤乗りやすさが約40%、②行き先、③便数、④運賃が約30%を占める。

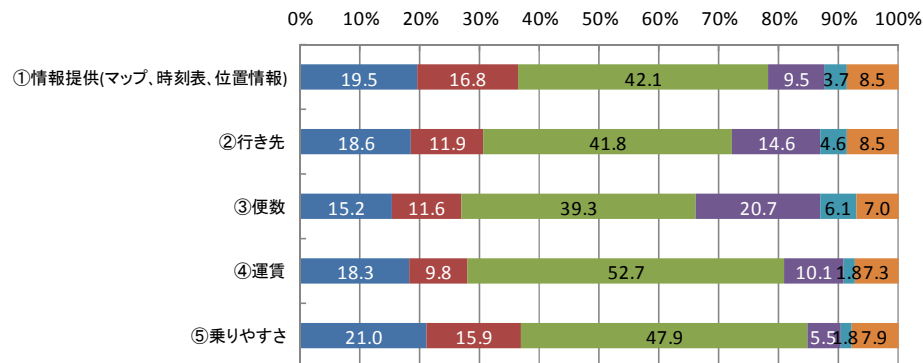


図 路線バスの満足度

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約32%、「バス路線があれば利用する」が約21%と、合わせて約53%が利用すると回答している。

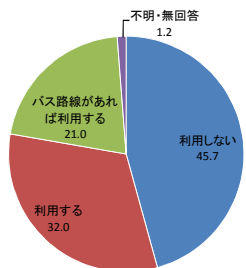


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約95%と大多数を占める。

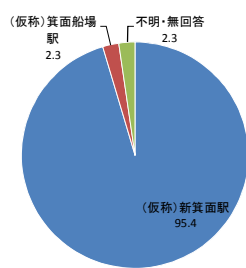


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約63%、その他の交通手段が約31%を占める。

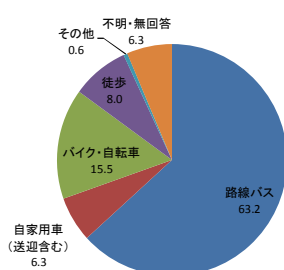


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

- ◆「年に数回」が約45%、「月に数回」が約40%と高い。

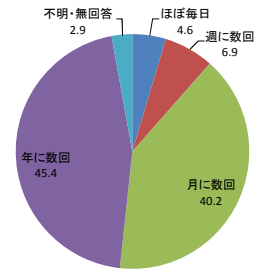


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

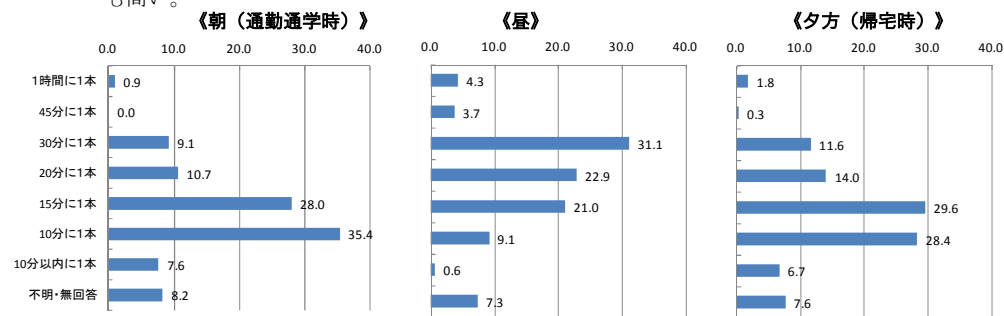
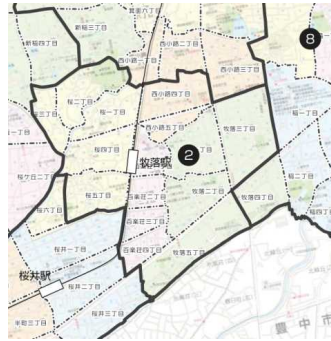


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆牧落駅勢圏（牧落駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：西小路4～5、牧落1～3、牧落5、百楽荘1～4、桜 1～5
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：阪急箕面線（牧落駅）
 - 路線バス 箕面中央線（石橋北口～千里中央）
 - 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
 - 阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：240件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約43%、「女性」が約57%である。

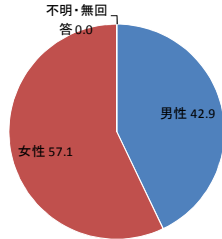


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約22%で最も多く、「60歳代」が約18%、「40歳代」が約17%、「50歳代」が約14%、「10～30歳代」をあわせて22%である。

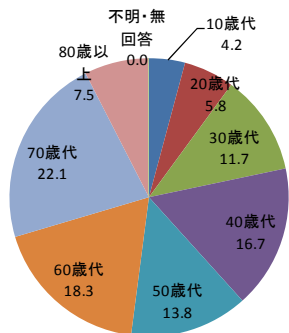


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「無職」が約24%、「専業主婦(夫)」が約17%、「アルバイト・パート」が約14%である。

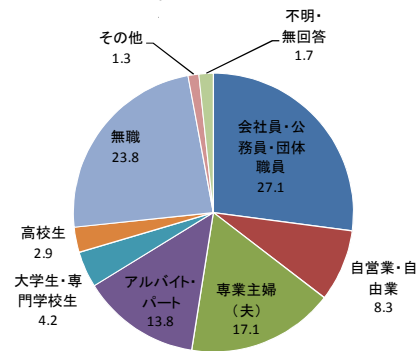


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約30%、「その他(市外)」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

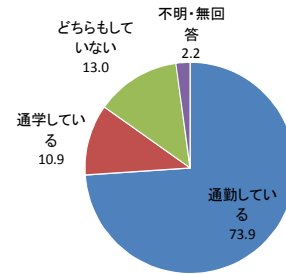


図 通勤・通学の有無

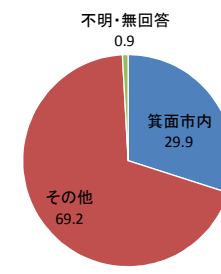


図 通勤・通学の行き先

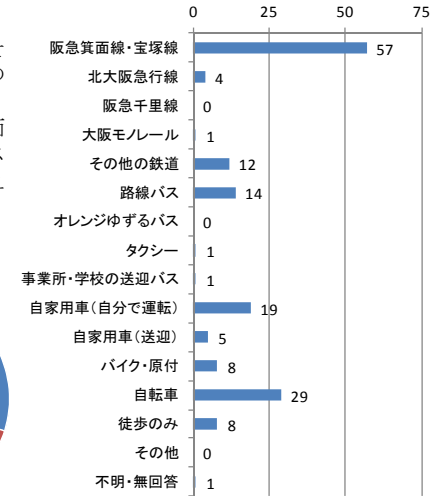


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約50%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

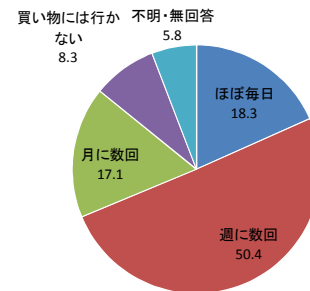


図 日常の買い物の頻度

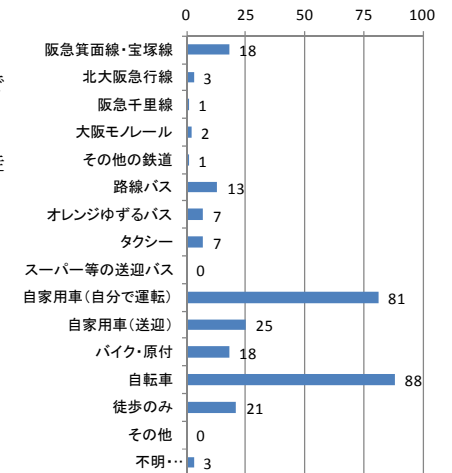


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

- ◆大変満足、やや満足と合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30%を占める。②行き先、③便数は、やや不満と不満を合わせた割合が満足を上回る。

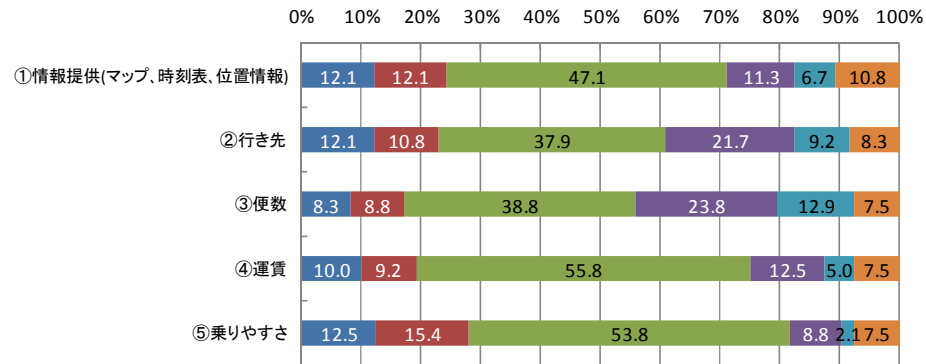


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約22%、「バス路線があれば利用する」が約23%と、合わせて約55%が利用すると回答している。

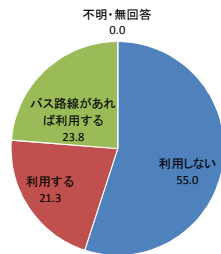


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約80%と大多数を占める。

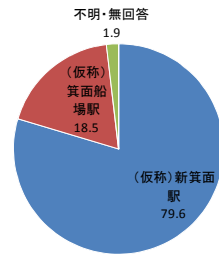


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約49%、「バイク・自転車」が約25%、「自家用車」が約15%である。

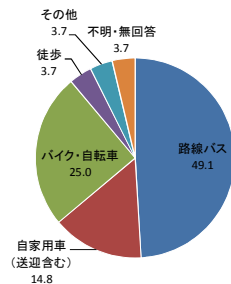


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

- ◆「年に数回」が約48%、「月に数回」が約43%と、この2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

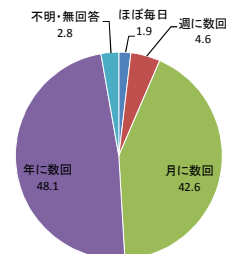


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」は「15分に1本」、「昼」は「30分に1本」、「夕方」は「15分に1本」の意向が最も高い。

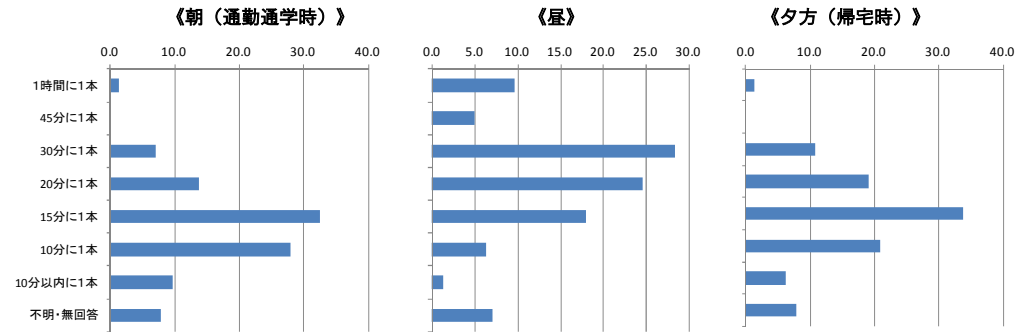


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)

◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆桜井駅・石橋駅勢圏（桜井駅、石橋駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：桜6、桜井1～3、半町1～4、瀬川1～瀬川5
- ◆公共交通機関
鉄道：阪急箕面線（桜井駅、石橋駅）
路線バス 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：355件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約41%、「女性」が約58%である。

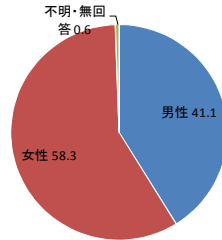


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約19%で最も多く、「40歳代」が約19%、「70歳代」が約18%、「50歳代」が約16%、「10～30歳代」をあわせて21%である。

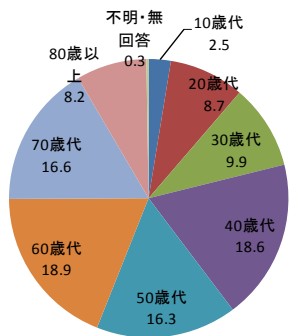


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約34%、「専業主婦(夫)」が約20%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約13%である。

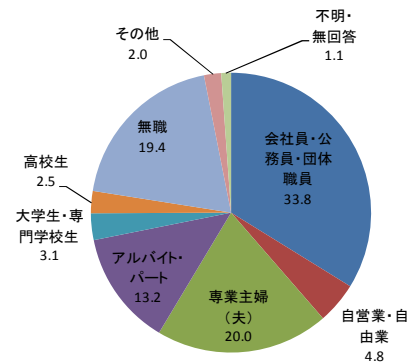


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約81%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約25%、「その他(市外)」が約74%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

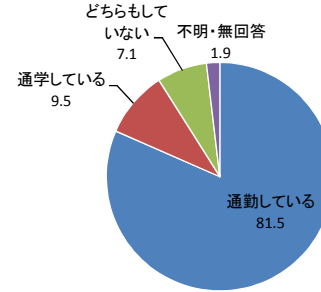


図 通勤・通学の有無

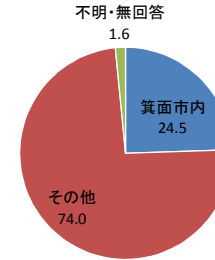


図 通勤・通学の行き先

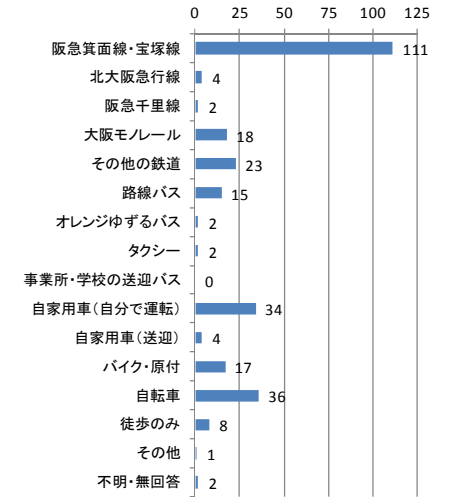


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約21%、「週に数回」が約51%、「月に数回」が約16%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

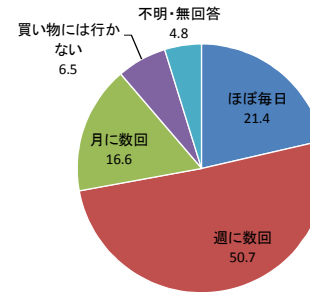


図 日常の買い物の頻度

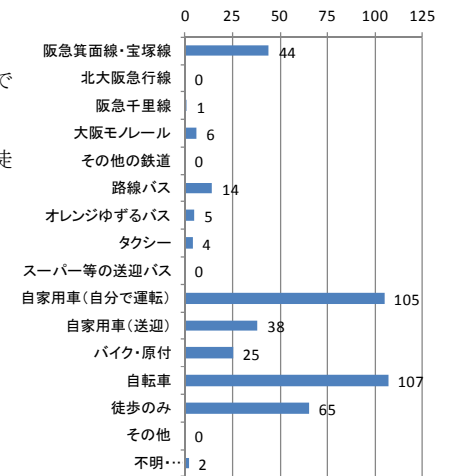


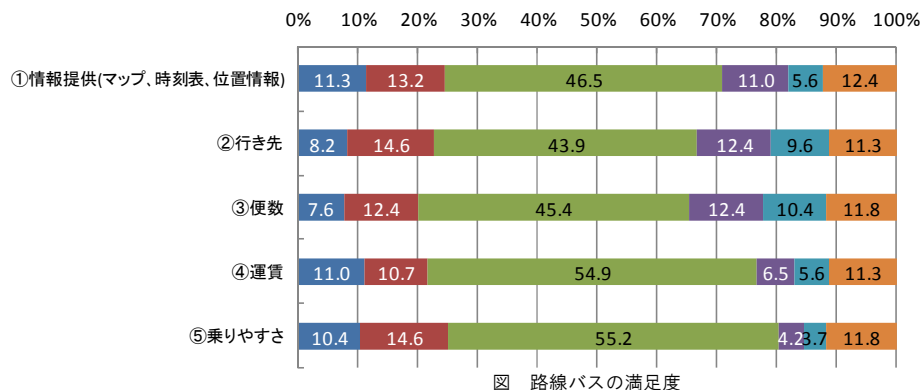
図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30%を占める。③便数は、やや不満と不満を合わせた割合が満足を上回る。



④北大阪急行線延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約12%、「バス路線があれば利用する」が約18%と、合わせて約30%が利用すると回答している。

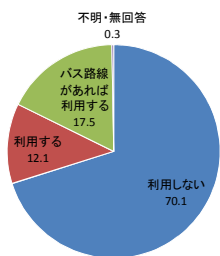


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約77%と大多数を占める。

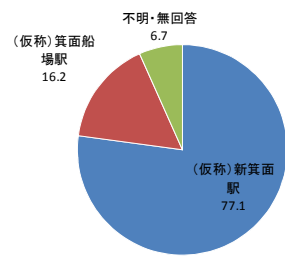


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約60%、「自家用車」が約20%、「バイク・自転車」が約11%である。

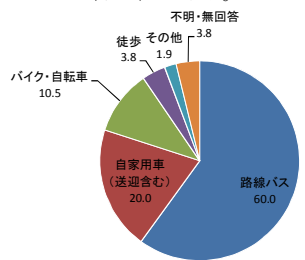


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約58%、「月に数回」が約29%とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

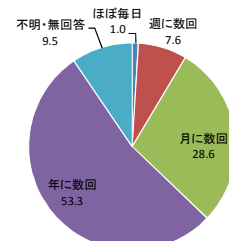


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

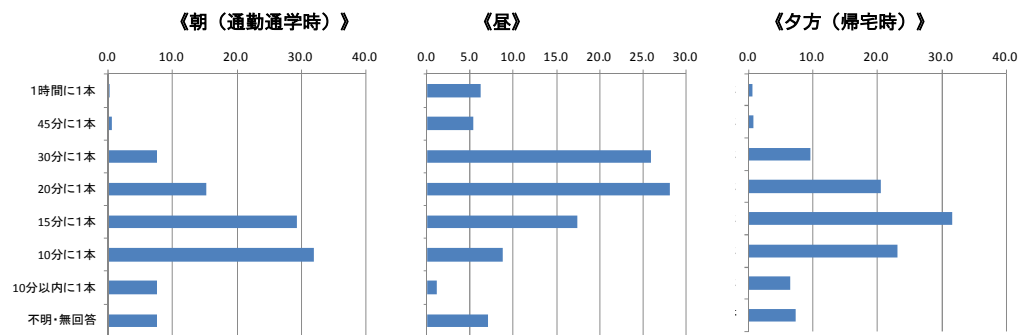


図 路線バスの運行本数意向 (朝、昼、夕方)

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅・牧落駅西部（箕面駅・牧落駅・桜井駅・石橋駅勢圏に含まれない箕面駅・牧落駅西部ゾーン）
- ◆町丁目：新稲2、新稲4～新稲7、桜ヶ丘1～桜ヶ丘5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：箕面中央線（石橋北口～千里中央）
- ◆アンケート回答数：212件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約40%、「女性」が約60%である。

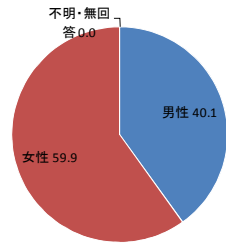


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約19%で最も多く、「50歳代」が約17%、「40歳代」が約16%、「70歳代」及び「80歳以上」が合わせて21%である。

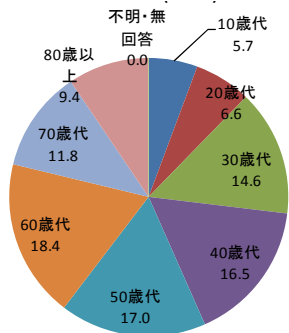


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約29%、「専業主婦(夫)」が約24%、「無職」が約18%、「アルバイト・パート」が約11%である。

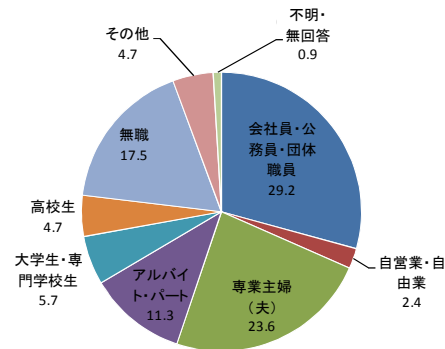


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約76%、「通学」が約17%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約25%、「その他(市外)」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

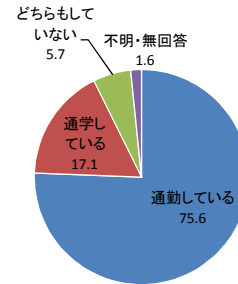


図 通勤・通学の有無

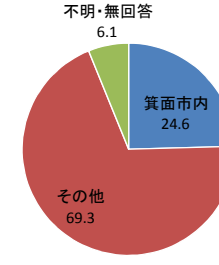


図 通勤・通学の行き先

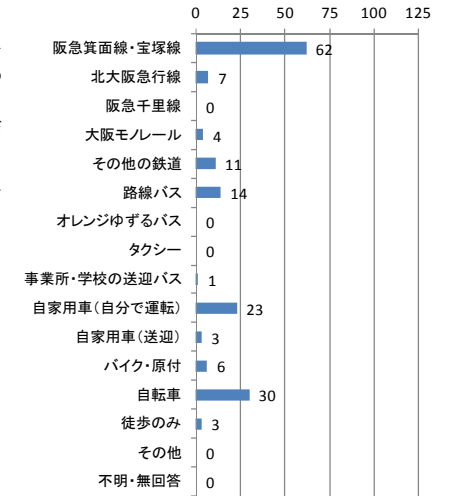


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約52%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」でのアクセスが最も多い。

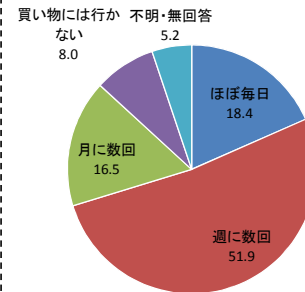


図 日常の買い物の頻度

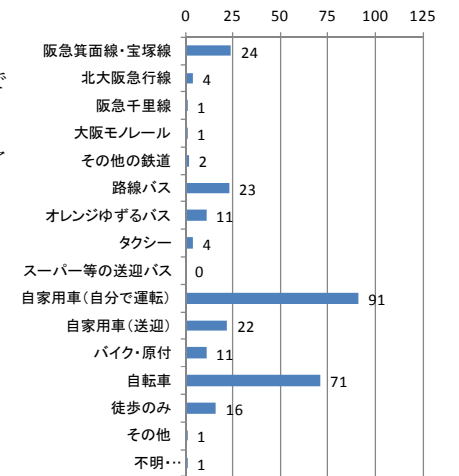


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30～40%である。③便数は、やや不満と大変不満をあわせた割合が約45%で、満足を大きく上回る。

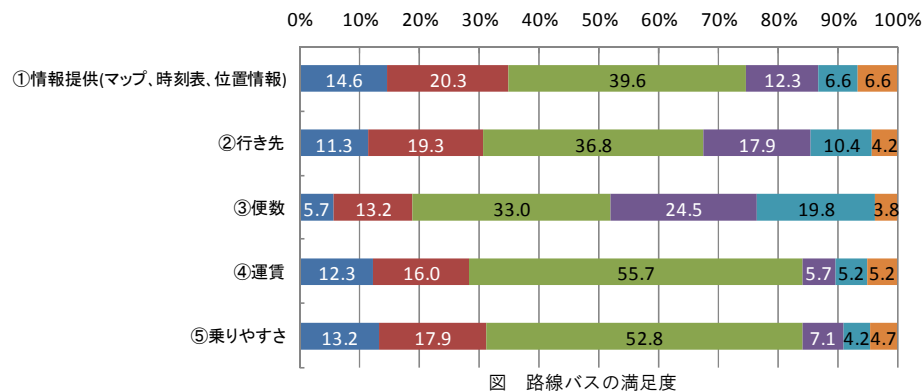


図 路線バスの満足度

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約18%、「バス路線があれば利用する」が約28%と、合わせて約46%が利用すると回答している。

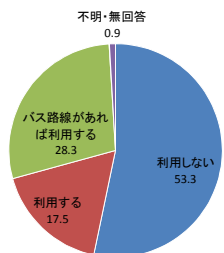


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約80%と大多数を占める。

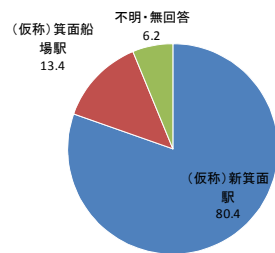


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約51%、「自家用車」が約22%、「バイク・自転車」が約11%である。

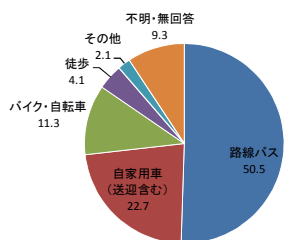


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約44%、「月に数回」が約47%とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

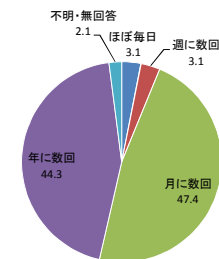


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」が最も高く、「夕方」は「15分に1本」と「10分に1本」の意向がほぼ同数。

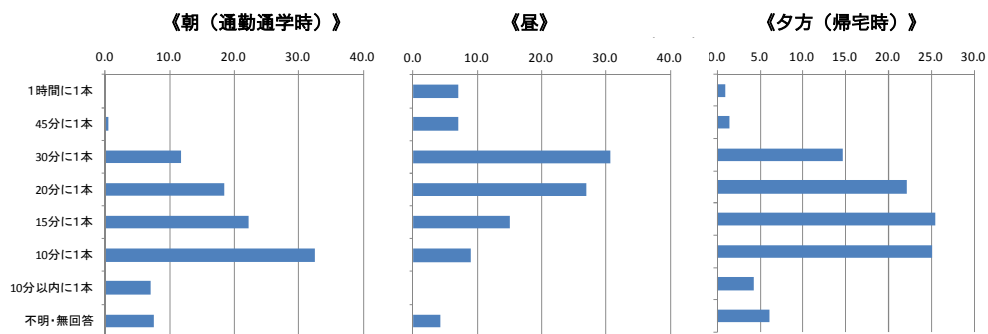


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏（（仮称）新箕面駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：白島1～3、西宿1～2、萱野1～萱野4、坊島2～5、如意谷2
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：現況 なし
将来 北大阪急行線（（仮称）新箕面駅）
 - 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：197件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約40%、「女性」が約59%である。

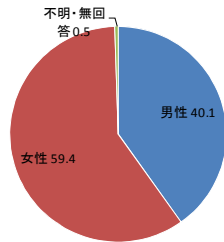


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約21%で最も多く、「40歳代」が約17%、「60歳代」が約16%、「50歳代」が約15%、「30歳代」が約13%である。

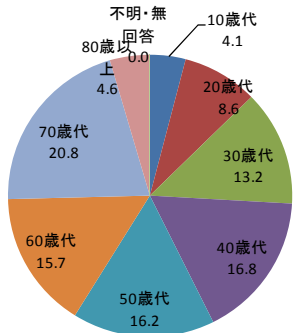


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦(夫)」が約21%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約12%である。

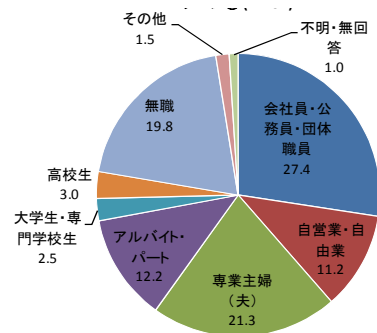


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約36%、「その他(市外)」が約63%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」と「自家用車」が共に31件で最も多く、また鉄道では「北大阪急行線」が26件と多く、北大阪急行線利用のために路線バスや自家用車でアクセスしていると考えられる。

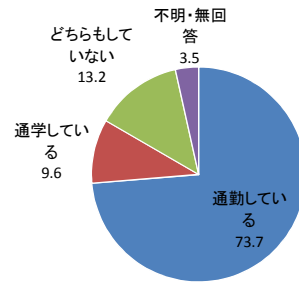


図 通勤・通学の有無

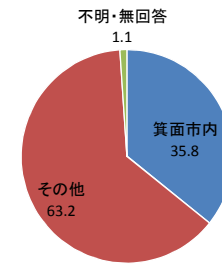


図 通勤・通学の行き先

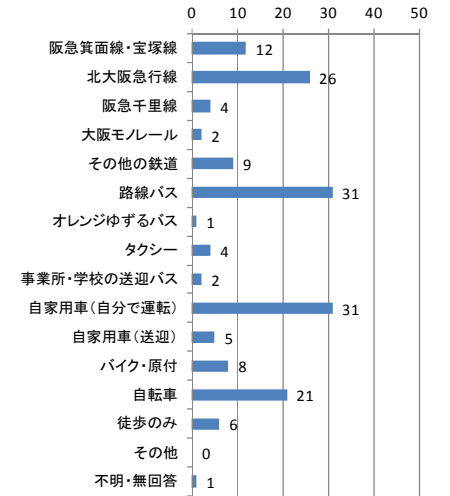


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約24%、「週に数回」が約52%、「月に数回」が約14%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」と「自転車」が多いが、公共交通機関の中では「路線バス」が最も多く、「徒歩」と並んで全体でも3番目に多い。

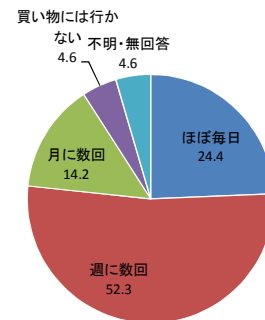


図 日常の買い物の頻度

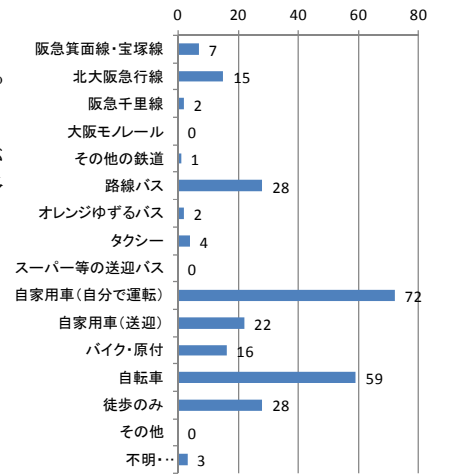


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさが約40%を占める。不満足意見は③便数でやや多いが、満足意見を下回っている。

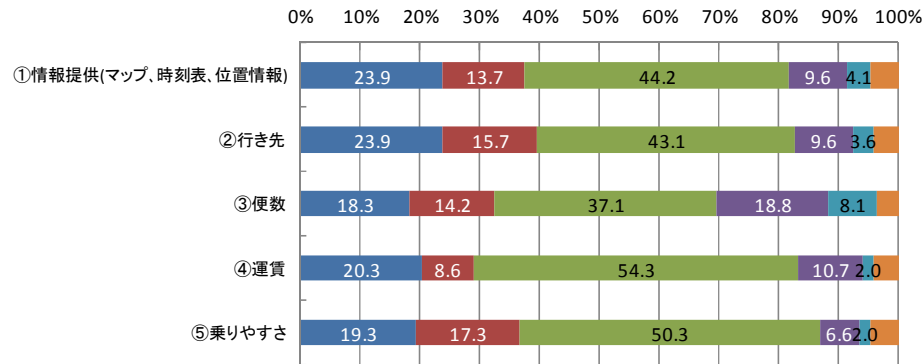


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約91%、「バス路線があれば利用する」が約3%、合わせて約94%とほとんどが回答している。

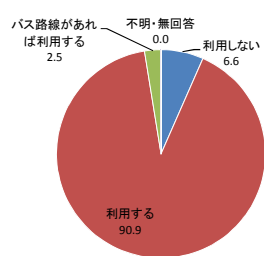


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約98%とほとんどを占める。

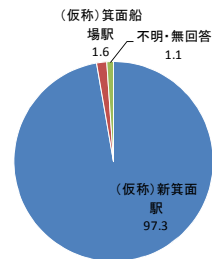


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「徒歩」が約73%と多くを占め、次いで「バイク・自転車」が約17%である。

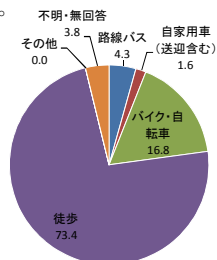


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が46%と最も多いが、「ほぼ毎日」が18%、「週に数回」が16%と日常的な利用意向も高い。

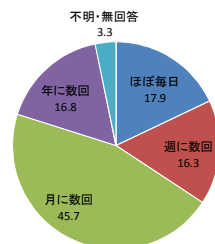


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「15分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

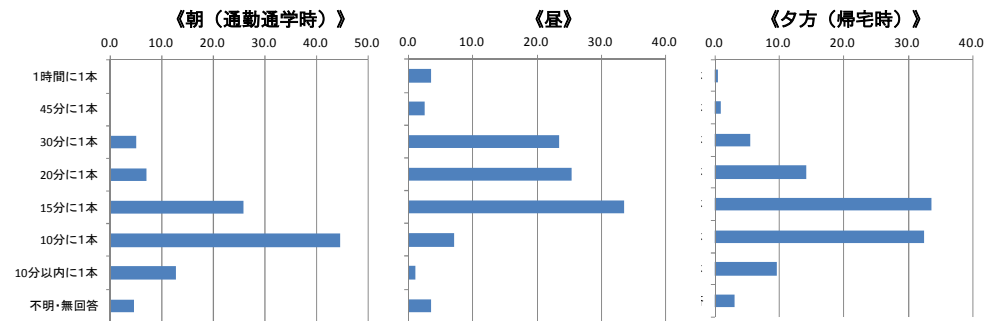


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）箕面船場駅勢圏（（仮称）箕面船場駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：船場東1～3、船場西1～3、萱野5、稲5～6
- ◆公共交通機関
 鉄道：現況 なし
 将来 北大阪急行線（（仮称）箕面船場駅）
 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
 如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
 箕面中央線（石橋北口～千里中央）
 北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
 箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
 粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：207件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約42%、「女性」が約59%である。

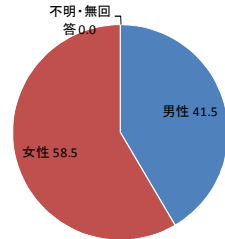


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約22%で最も多く、「50歳代」が約18%、「60歳代」が約17%、「70歳代」が約14%、「30歳代」が約13%である。

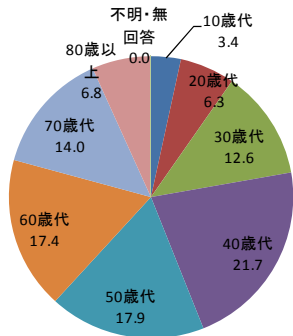


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約32%、「専業主婦(夫)」が約20%、「アルバイト・パート」が約18%、「無職」が約14%である。

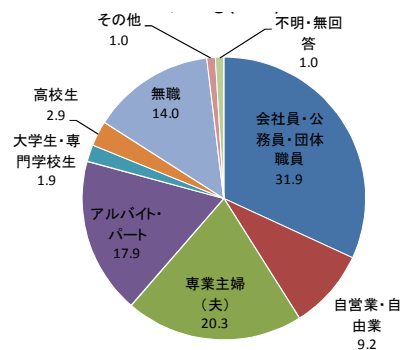


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約81%、「通学」が約7%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約19%、「その他(市外)」が約78%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、全ての手段の中で「北大阪急行線」が45件と最も多く、「路線バス」が42件で続いており、路線バスや自転車、自家用車で北大阪急行線にアクセスしていると考えられる。

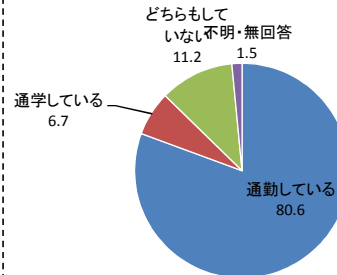


図 通勤・通学の有無

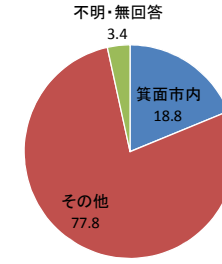


図 通勤・通学の行き先

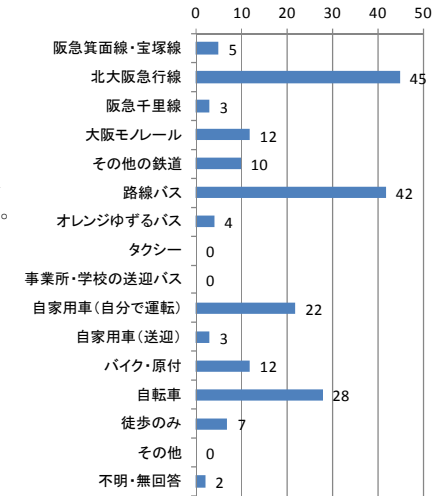


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約61%、「月に数回」が約14%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が90件で突出して多く、その他の手段では「自転車」、「路線バス」と続いている。

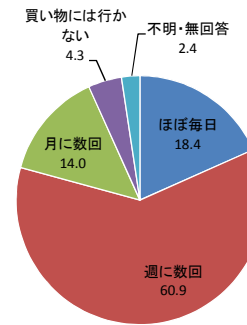


図 日常の買い物の頻度

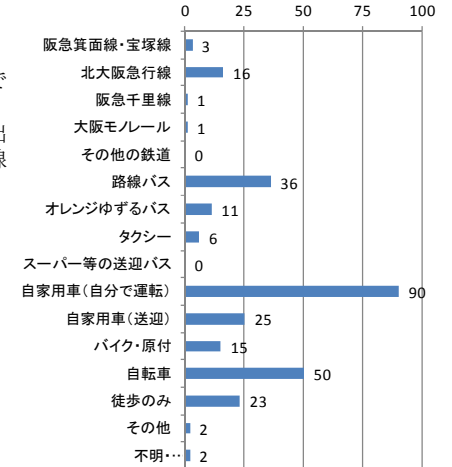


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆④運賃以外の項目で、大変満足、やや満足を合わせた割合が約30～40%ある。④運賃は、大変不満と不満をあわせて約24%で、満足意見とほぼ同程度である。

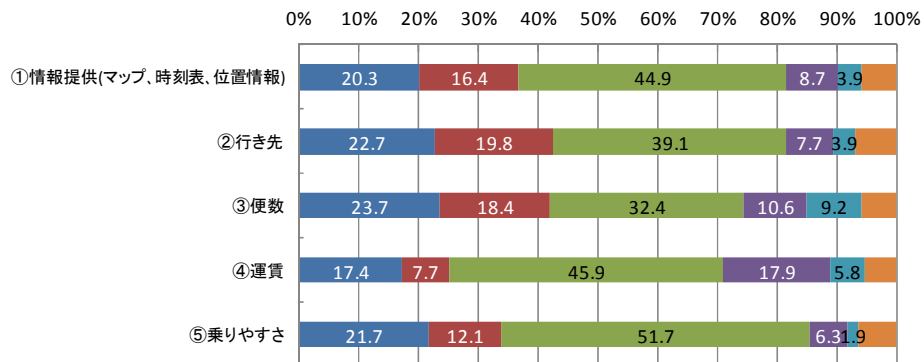


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆延伸区間の利用意向は、「利用する」が約88%、「バス路線があれば利用する」が約2%と、合わせて約90%が利用すると回答している。

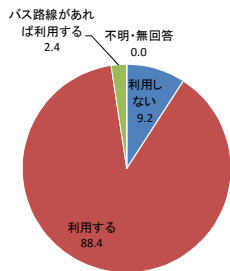


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）箕面船場駅」の利用意向が約97%とほとんどを占める。

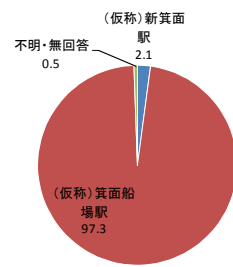


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「徒歩」が87%とほとんどを占める。

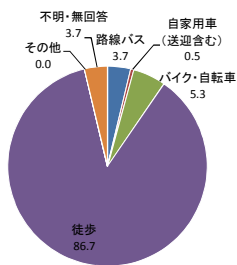


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が44%と最も多いが、「ほぼ毎日」が24%、「週に数回」が19%と日常的な利用意向も高い。

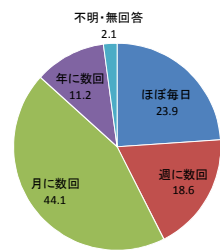


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

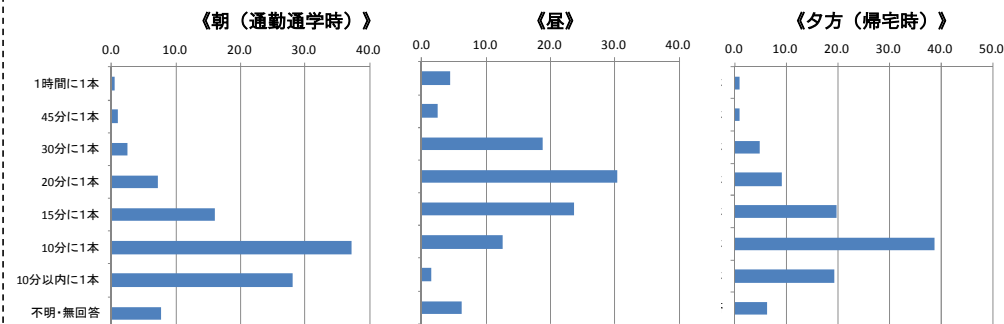


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、北西部の如意谷地域のゾーン
- ◆町丁目：如意谷1、如意谷3～5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
- ◆アンケート回答数：123件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約46%、「女性」が約54%である。

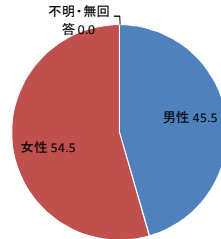


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「50歳代」が約22%で最も多く、「70歳代」が約19%、「60歳代」が約18%、「40歳代」が約15%、「20歳代」と「30歳代」が共に約9%である。

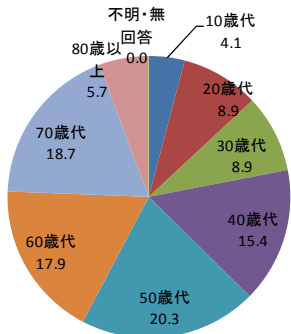


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約33%、「無職」が約21%、「専業主婦(夫)」が約20%、「アルバイト・パート」が約13%である。

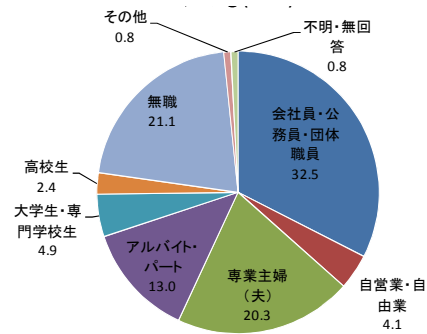


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約82%、「通学」が約12%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約24%、「その他(市外)」が約75%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」、「北大阪急行線」、「路線バス」がほぼ同程度で、「阪急箕面線」も続いており、自家用車や路線バスで鉄道駅にアクセスしている状況が考えられる。

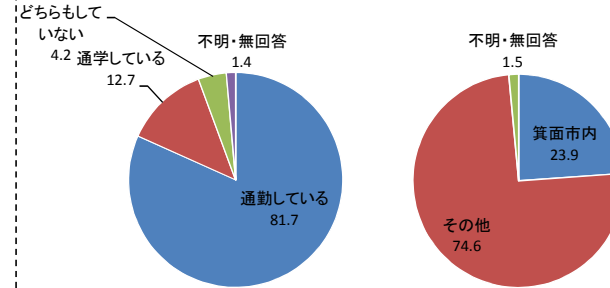


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

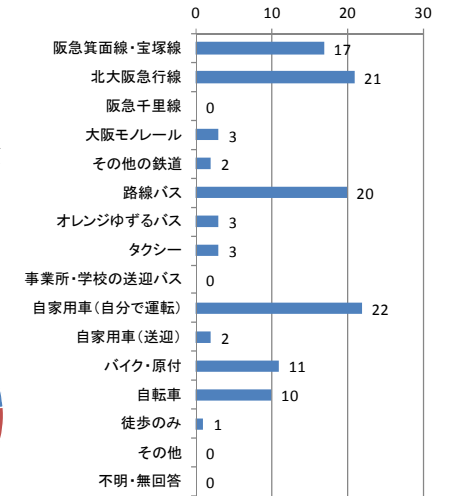


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約55%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が52件で最も多いが、「路線バス」が36件で続いている。

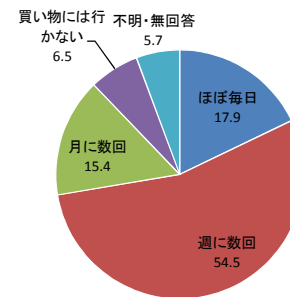


図 日常の買い物の頻度

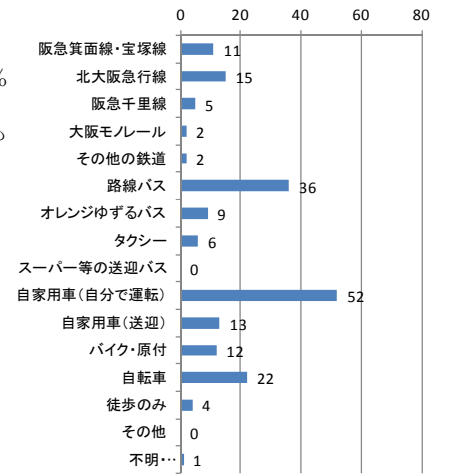


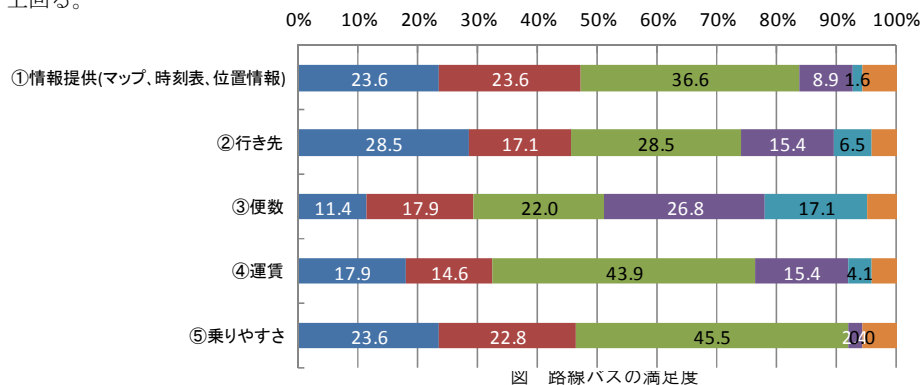
図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

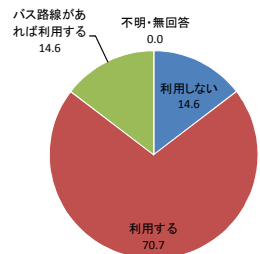
◆大変満足、やや満足と合わせると、①情報提供は50%弱、②行き先と⑤乗りやすさも約40%強あるが、③便数は、大変不満とやや不満を合わせた割合が40%以上あり、満足回答を上回る。



④北大阪急行線延伸後の交通行動

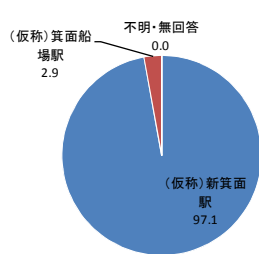
④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約71%、「バス路線があれば利用する」が約15%と、合わせて約86%が利用すると回答している。



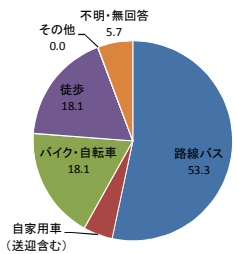
④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約97%とほとんどを占める。



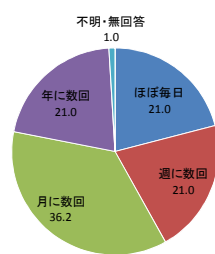
④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約59%で過半数を占め、「バイク・自転車」と「徒歩」が共に約18%で続く。



④-4. 延伸区間の利用頻度

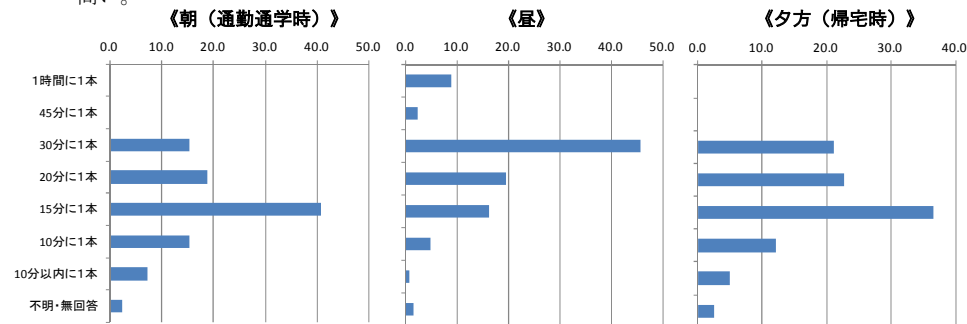
◆「月に数回」が約34%と最も多いが、「ほぼ毎日」と「週に数回」が共に約21%あり、日常的な利用意向も高い。



⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。



◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、西部の（仮称）新箕面駅、箕面駅、牧落駅の間ゾーン
- ◆町丁目：坊島1、箕面4、稲1～4、牧落4
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白鳥線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
粟生団地線白鳥経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：150件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約43%、「女性」が約57%である。

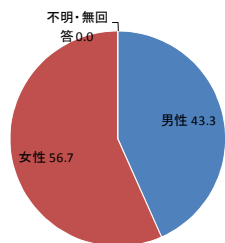


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約23%で最も多く、「60歳代」が約20%、「40歳代」が約16%、「50歳代」が約15%、「20～30歳代」をあわせると18%である。

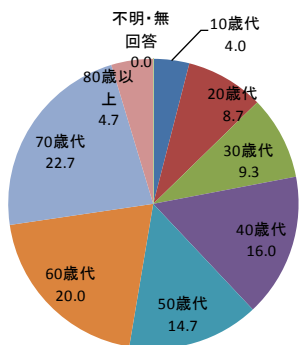


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦（夫）」が約25%、「無職」が約18%、「アルバイト・パート」が約14%である。

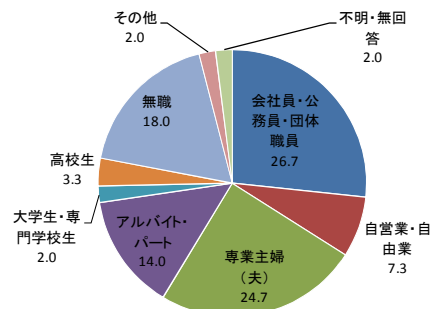


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約77%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約29%、「その他（市外）」が約71%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が32件と最も多く、鉄道も「阪急箕面線」24件、「北大阪急行線」15件と、全体的に公共交通機関の利用が多い。その他は「自転車」20件、「自家用車」14件である。

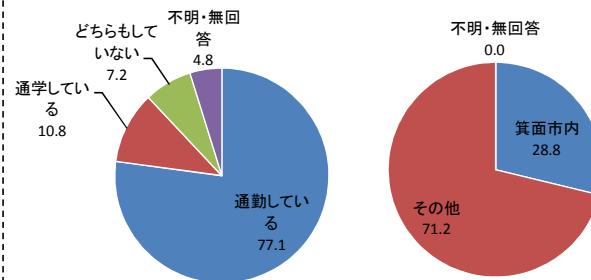


図 通勤・通学の有無 ; 図 通勤・通学の行き先

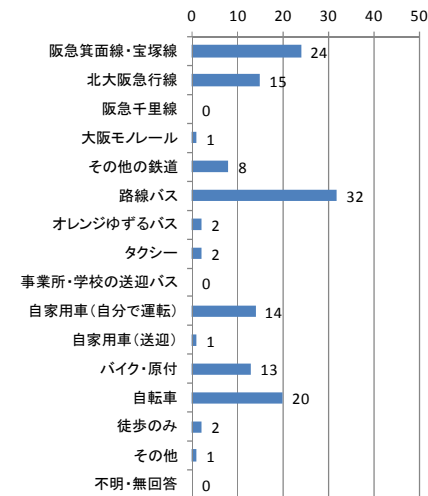


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約27%、「週に数回」が約45%、「月に数回」が約19%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自転車」が58件、「自家用車」が54件と突出して多い。「路線バス」も19件あるが、公共交通機関の回答は全体的に少ない。

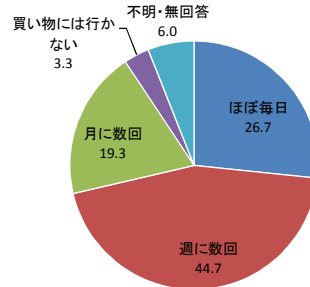


図 日常の買い物の頻度

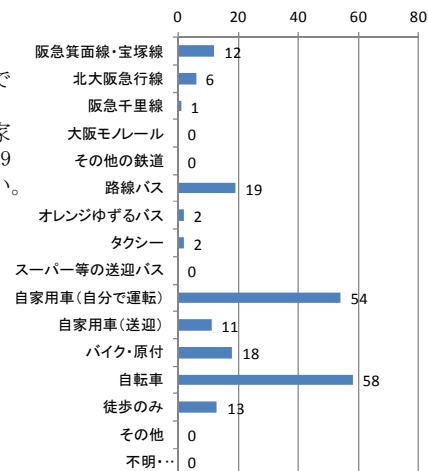


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、②行き先、①情報提供、⑤乗りやすさが40%弱と多い。

③便数は、大変不満とやや不満を合わせた割合が30%弱あり、満足回答に近い割合である。

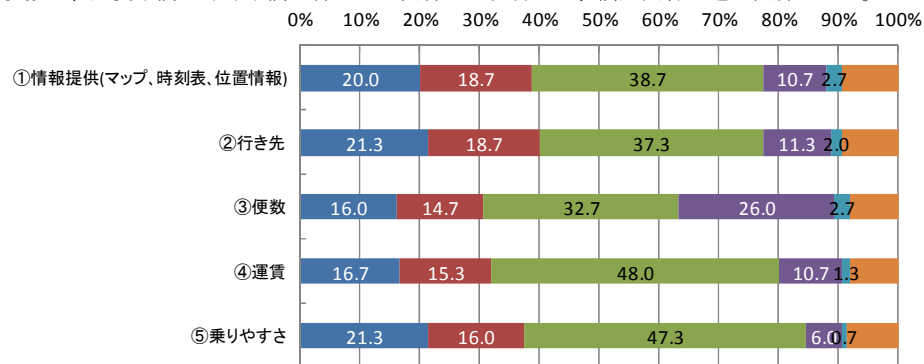


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約62%、「バス路線があれば利用する」が約20%と、合わせて約82%が利用すると回答している。

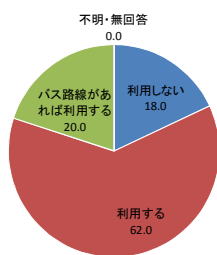


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約77%、「（仮称）箕面船場駅」が約18%である。

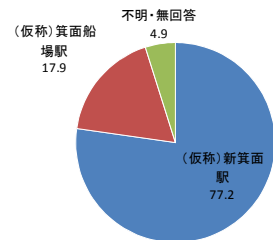


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「バイク・自転車」が約45%で最も多く、「路線バス」が約28%、「徒歩」が14%と続く。

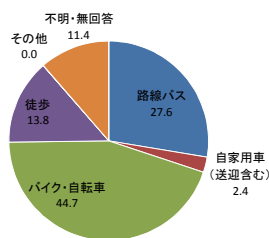


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約36%と最も多いが、「ほぼ毎日」と「週に数回」が共に約21%あり、日常的な利用意向も高い。

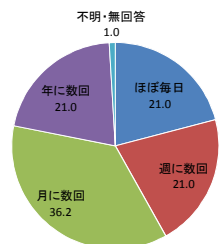


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

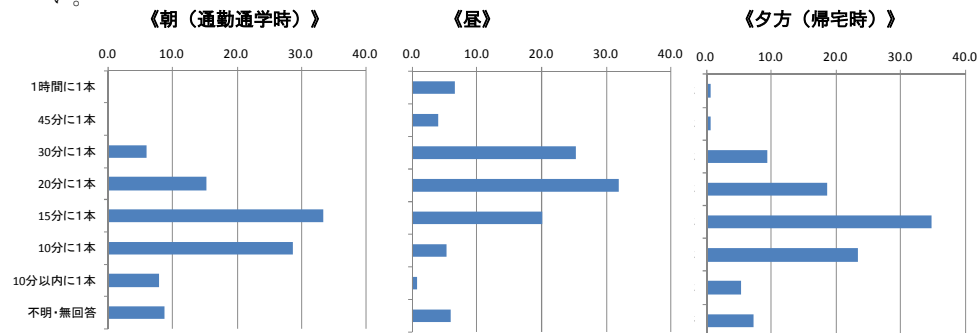


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない北東部ゾーン
- ◆町丁目：石丸1～3、外院1～3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線小野原経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：91件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約47%、「女性」が約53%である。

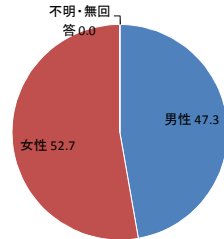


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約23%で最も多く、「70歳代」が約18%、「40歳代」が約17%、「50歳代」が約15%、「20～30歳代」をあわせると12%である。

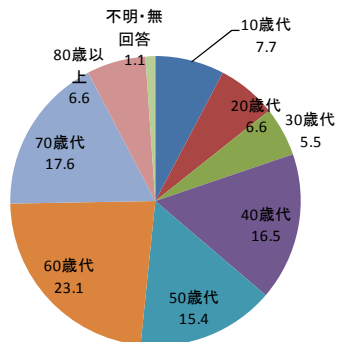


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦(夫)」が約19%、「アルバイト・パート」が約18%、「無職」が約14%である。

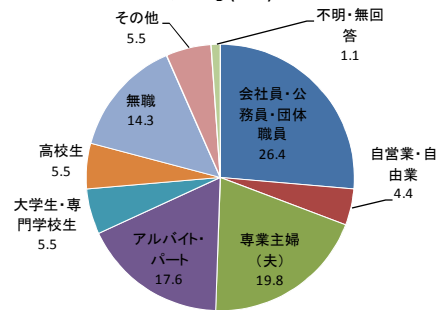


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約70%、「通学」が約17%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約26%、「その他(市外)」が約73%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が22件と最も多く、「北大阪急行線」が19件で続くなど、全体的に公共交通機関の利用が多い。その他は「自家用車」13件、「自転車」12件である。

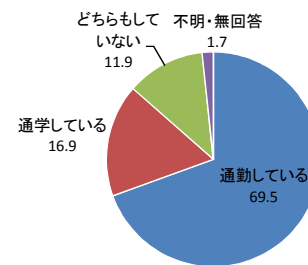


図 通勤・通学の有無

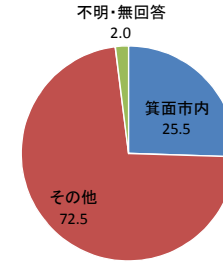


図 通勤・通学の行き先

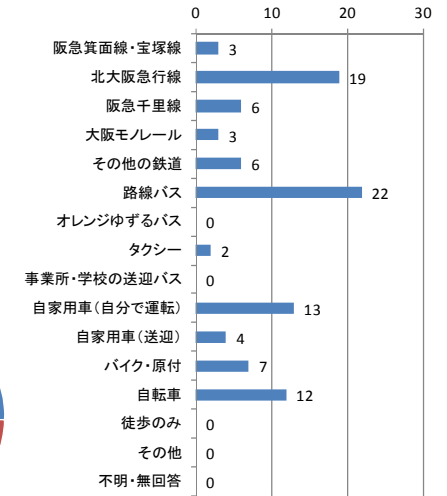


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約20%、「週に数回」が約48%、「月に数回」が約25%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が53件と突出して多く、「自転車」が20件で続き、「路線バス」は15件である。

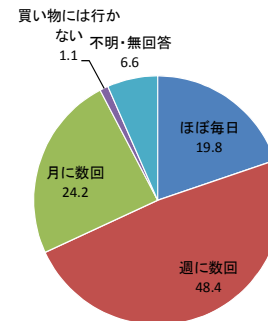


図 日常の買い物の頻度

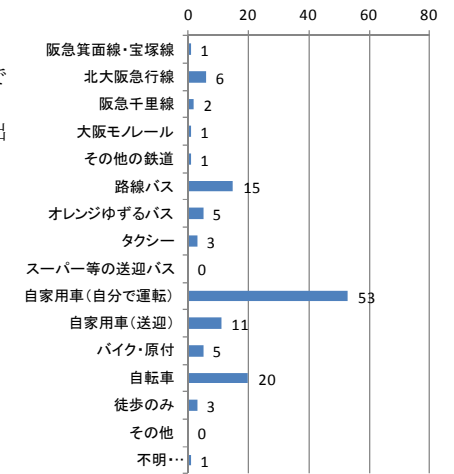


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、⑤乗りやすさ、①情報提供が約30%ある。③便数は、満足回答が約14%に対し、大変不満と不満を合わせた割合が約68%と非常に不満度が高い。

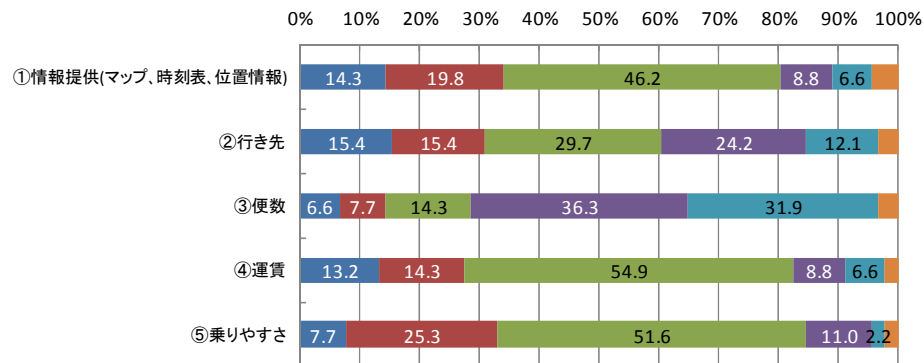


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約88%、「バス路線があれば利用する」が約11%、合わせて約99%とほとんどが利用意向を示す。

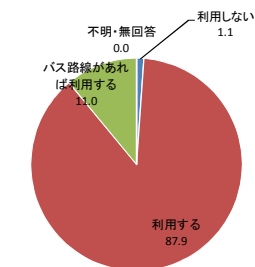


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約96%とほとんどを占める。

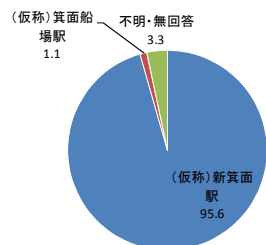


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約41%で最も多く「バイク・自転車」が約27%、「徒歩」が約20%と続く。

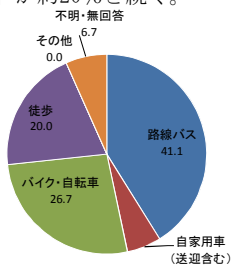


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約45%、「年に数回」が約33%とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

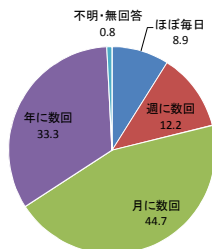


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

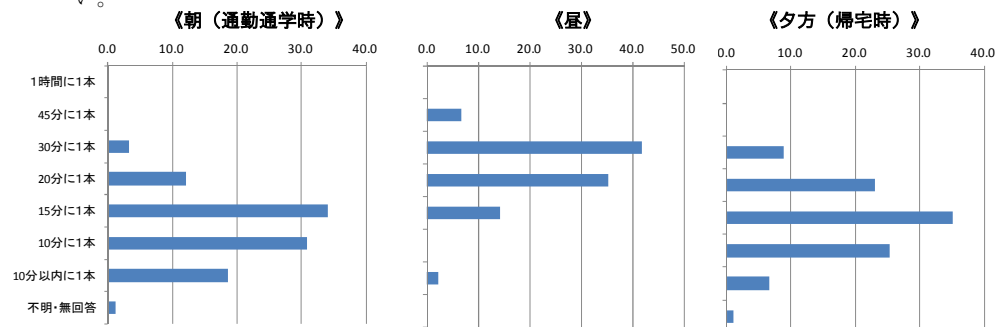


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン10：粟生団地バスターミナル周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆粟生団地バスターミナル周辺で、箕面山麓線沿いのゾーン
- ◆町丁目：粟生外院2～3、粟生外院5～6、粟生間谷西2～7
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：177件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約45%、「女性」が約55%である。

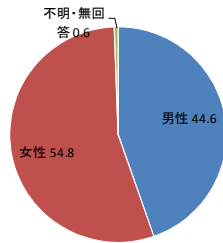


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約27%で最も多く、「60歳代」が約20%、「40歳代」が約14%、「50歳代」が約11%、「20～30歳代」をあわせると15%である。

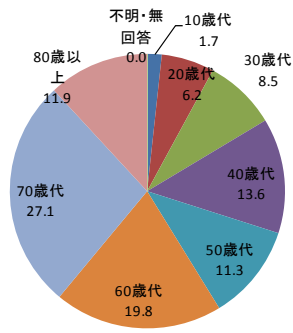


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「無職」が約35%と最も多く、「会社員・公務員・団体職員」が約20%、「専業主婦(夫)」が約16%、「アルバイト・パート」が約13%である。

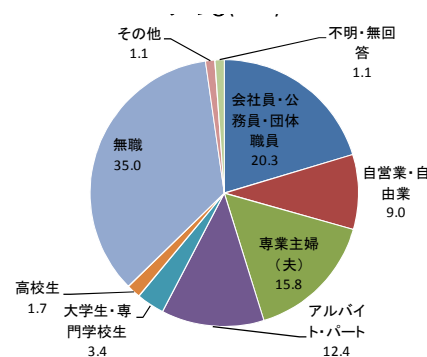


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約33%、「その他(市外)」が約64%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」と「自家用車」が29件で同数。鉄道では「北大阪急行線」16件と「阪急千里線」13件と続き、路線バスや自家用車でこれら鉄道駅へアクセスしていると考えられる。

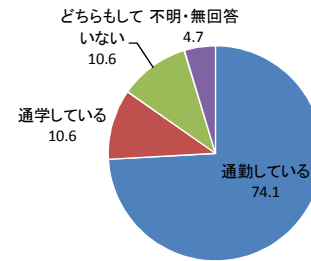


図 通勤・通学の有無

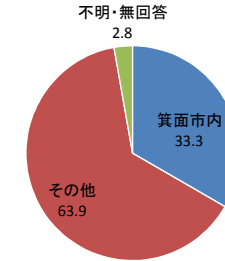


図 通勤・通学の行き先

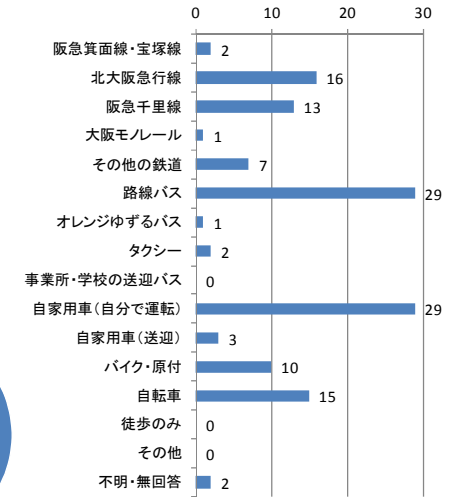


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約22%、「週に数回」が約54%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が75件で突出して多く、次いで「路線バス」が30件である。「自転車」及び「徒歩」が22件で続く。

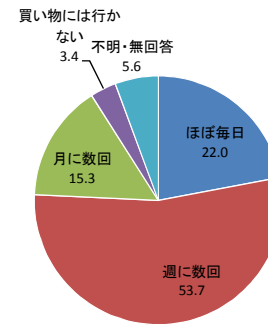


図 日常の買い物の頻度

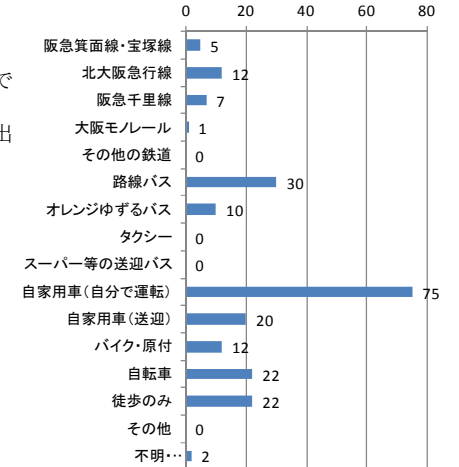


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさが約30%。③便数は、満足回答が約17%に対し大変不満と不満を合わせた割合が約44%と非常に不満度が高い。

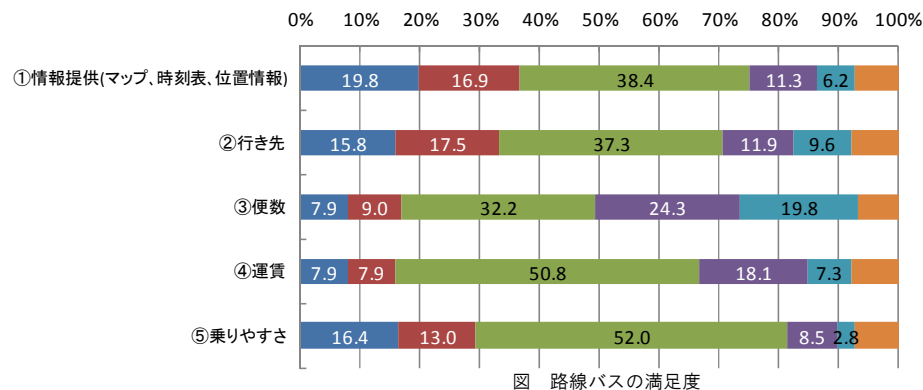


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約50%、「バス路線があれば利用する」が約38%と、合わせて約88%が利用すると回答している。

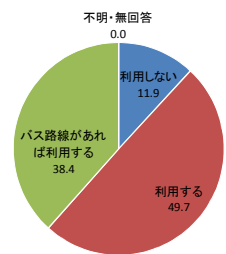


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約92%とほとんどを占める。

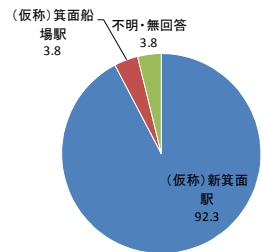


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約69%と多くを占め、「バイク・自転車」が約13%、「自家用車」が約10%である。

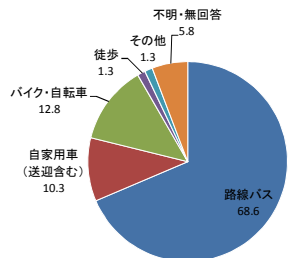


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約49%と最も多く、「ほぼ毎日」と「年に数回」が共に約17%、「週に数回」が11%である。

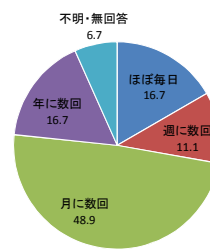


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

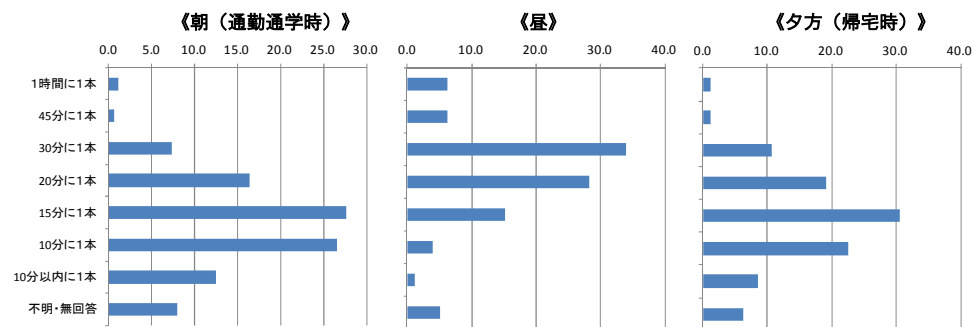


図 路線バスの運行本数意向 (朝、昼、夕方)

◇ゾーン11：粟生外院・粟生新家（粟生団地南、R171号以北）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆粟生外院・粟生新家周辺で、R171号以北のゾーン
- ◆町丁目：粟生外院1、粟生外院4、粟生新家2～5、粟生間谷西1
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：182件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約41%、「女性」が約59%である。

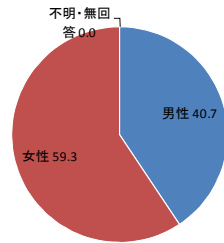


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約25%で最も多く、「40歳代」が約18%、「70歳代」が約17%、「50歳代」が約10%、「30歳代」と「80歳以上」が共に9%である。

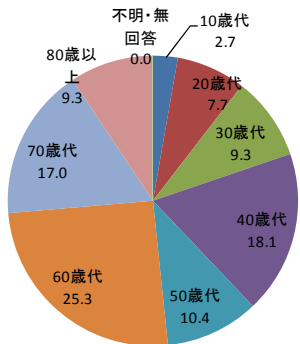


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約30%、「無職」が約24%、「専業主婦(夫)」が約19%、「アルバイト・パート」が約13%である。

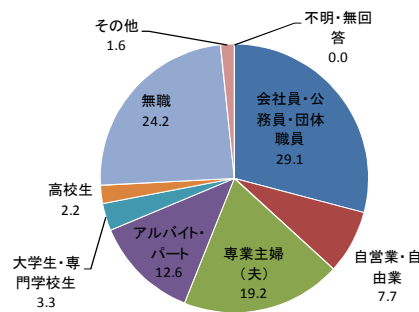


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約82%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約22%、「その他(市外)」が約75%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が44件で最も多く、「自家用車」26件、「北大阪急行線」25件、「阪急千里線」23件と同程度で続いており、これらの鉄道駅へ路線バスや自家用車でアクセスしていると考えられる。

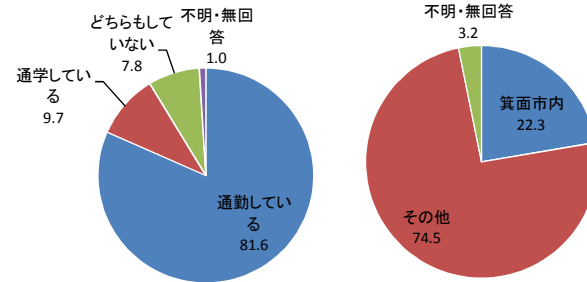


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

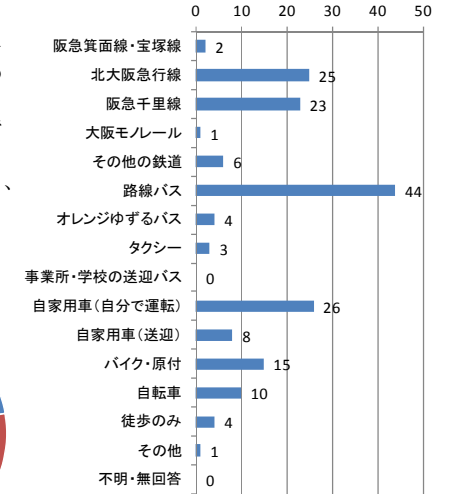


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約16%、「週に数回」が約53%、「月に数回」が約13%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が78件、次いで「路線バス」が50件、「自家用車(送迎)」が27件。自家用車への依存が高い傾向。

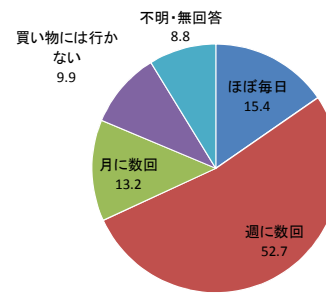


図 日常の買い物の頻度

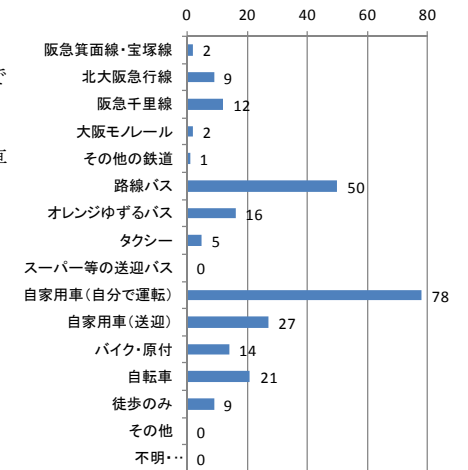


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン11：粟生外院・粟生新家（粟生団地南、R171号以北）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、⑤乗りやすさが約30%と高い。大変不満と不満を合わせた割合は、③便数が約36%、④運賃が約25%で、満足意見より不満意見のほうが高い。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

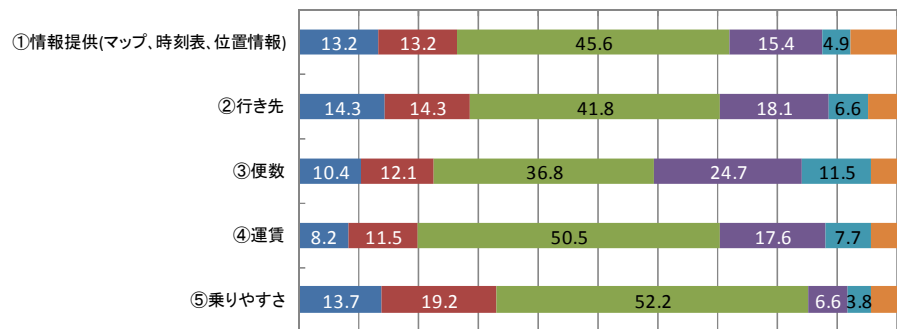


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約39%、「バス路線があれば利用する」が約41%と、合わせて約80%が利用すると回答している。

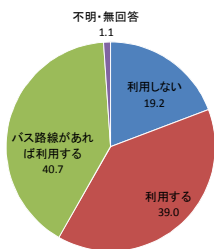


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約92%と大多数を占める。

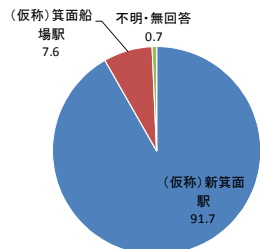


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約65%と最も多く、「自転車・バイク」が約18%、「自家用車」が約6%である。

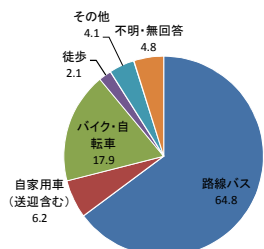


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約43%、「年に数回」が約31%、あわせて約74%を占める。「ほぼ毎日」は約10%、「週に数回」が約12%で、日常的な利用意向は高くない。

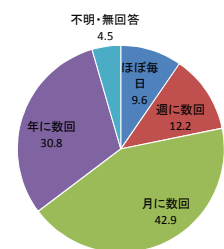


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

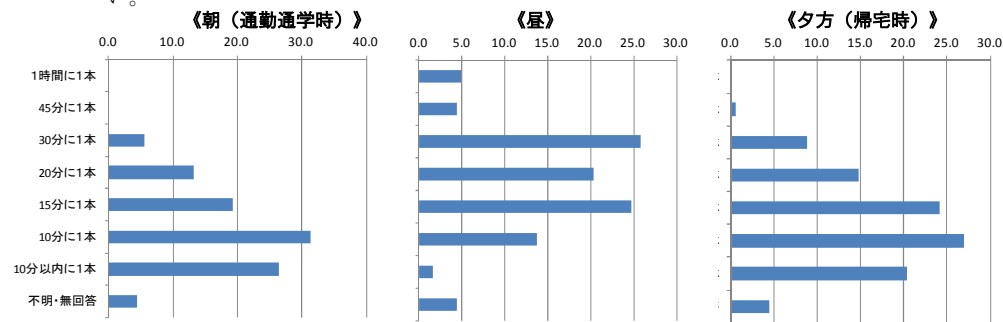


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆間谷住宅周辺で、勾配の大きいゾーン
- ◆町丁目：粟生間谷東1～8、彩都粟生南1～3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：101件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約45%、「女性」が約55%である。

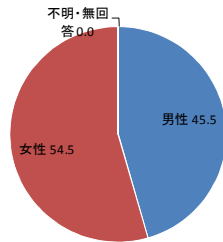


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約20%で最も多く、「60歳代」が約19%、「20歳代」と「70歳代」が共に約16%、「30歳代」が約13%、「50歳代」が8%である。

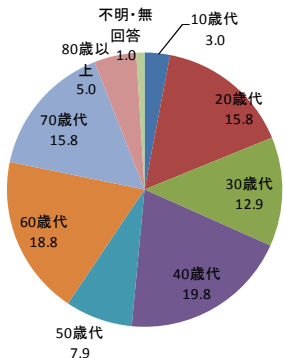


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約35%、「専業主婦(夫)」が約30%、「無職」が約12%、「自営業・自由業」が約8%である。

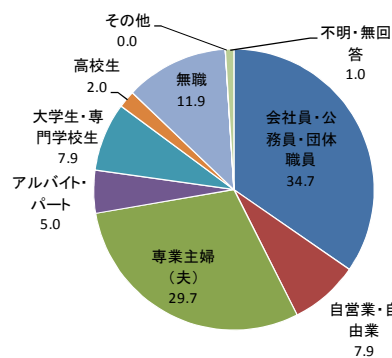


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約71%、「通学」が約16%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約22%、「その他(市外)」が約70%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」が20件で最も多く、「路線バス」が11件、「大阪モノレール」が10件で続いている。

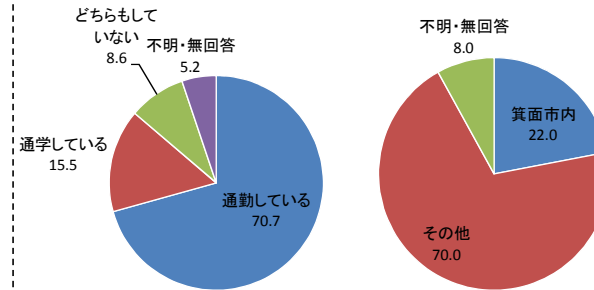


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

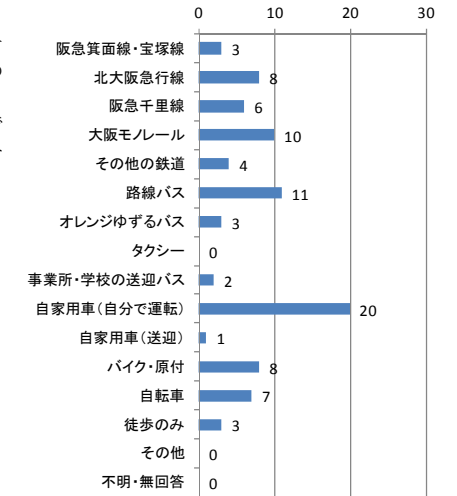


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約16%、「週に数回」が約55%、「月に数回」が約21%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が56件で突出して多く、次いで「路線バス」が24件、「自家用車(送迎)」が12件。自家用車への依存が高い傾向。

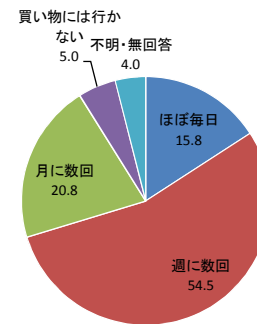


図 日常の買い物の頻度

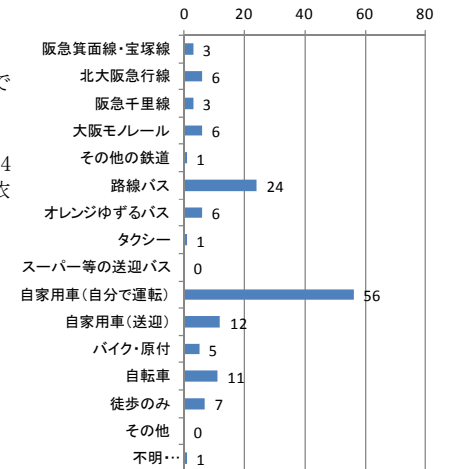


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、⑤乗りやすさが約40%と高い。大変不満と不満を合わせた割合は、③便数が約58%、②行き先が約32%、④運賃が約24%で、いずれも満足意見より不満意見のほうが高い。

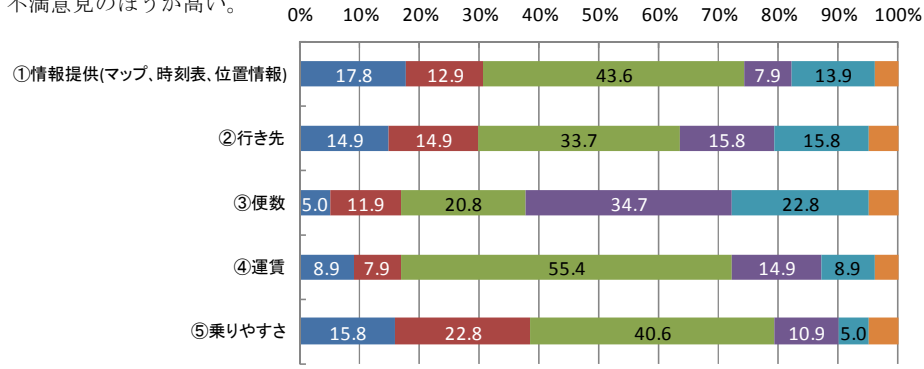


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約41%、「バス路線があれば利用する」が約37%と、合わせて約78%が利用すると回答している。

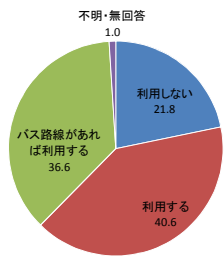


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約92%と大多数を占める。

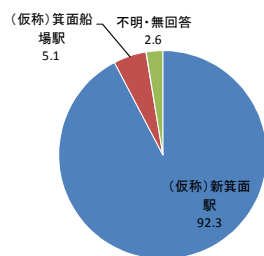


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約56%、「自家用車」が28%、「バイク・自転車」が約28%である。

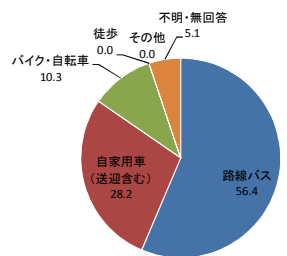


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約46%、「年に数回」が約26%、あわせて約74%を占める。「ほぼ毎日」は約14%、「週に数回」が約13%で、日常的な利用意向は高くない。

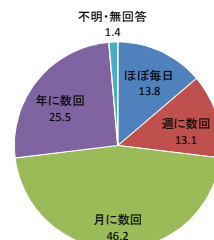


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

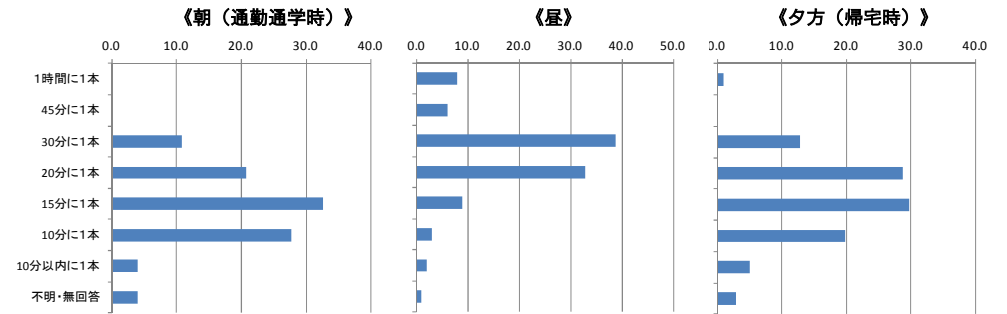


図 路線バスの運行本数意向 (朝、昼、夕方)

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

①ゾーン概要

- ◆彩都地域のゾーン
- ◆町丁目：彩都粟生南4～7、彩都粟生北1～7
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
- ◆アンケート回答数：72件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約47%、「女性」が約53%である。

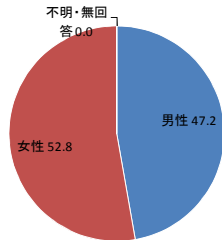


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「30歳代」が約40%で最も多く、「40歳代」が約33%で続き、この2つの年齢層で約79%を占めている。

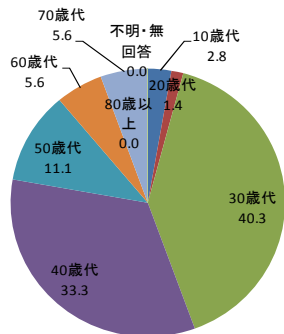


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約53%と過半数で、「アルバイト・パート」が約19%、「専業主婦(夫)」が約11%である。

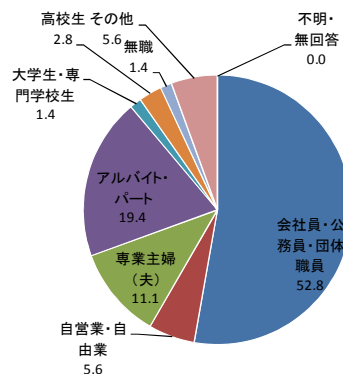


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約89%、「通学」が約5%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約14%、「その他(市外)」が約86%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「大阪モノレール」が31件と突出して多く、「自家用車」が19件、「路線バス」が14件で続く。その他「北大阪急行線」が10件あるが、モノレール以外の鉄道は少ない。

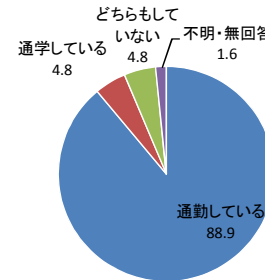


図 通勤・通学の有無

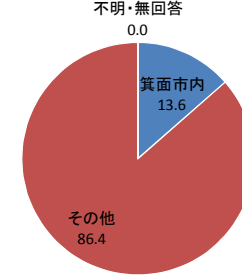


図 通勤・通学の行き先

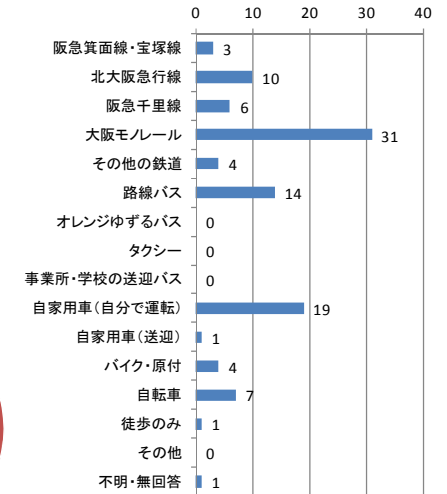


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約19%、「週に数回」が約58%、「月に数回」が約20%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が56件と非常に突出しており、他の手段は非常に少ない。

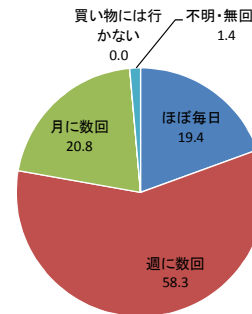


図 日常の買い物の頻度

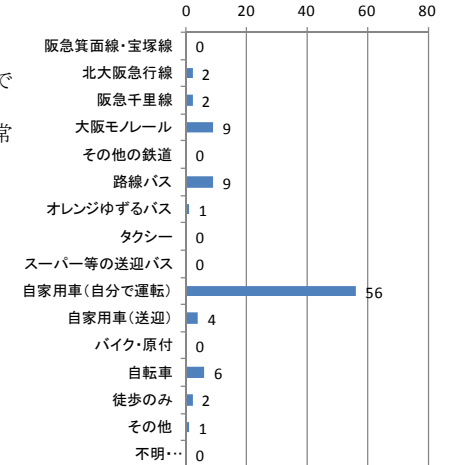


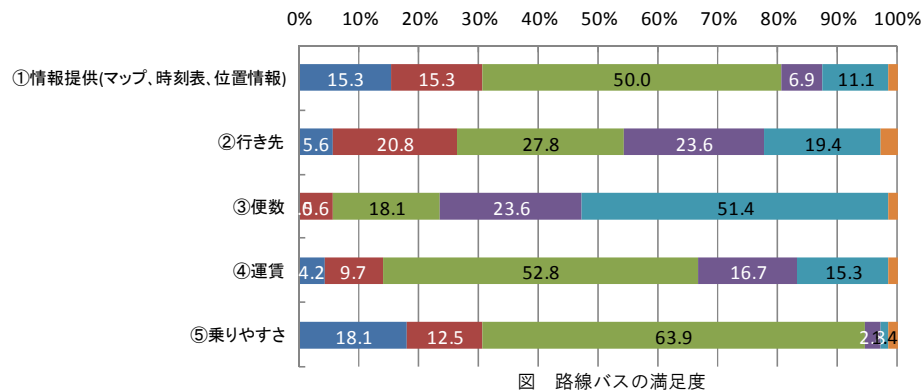
図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆全体的に、大変不満とやや不満を合わせた不満意見の割合が高く、特に③便数が約75%と非常に高い。他の不満意見は、②行き先が約43%、④運賃が約32%と高い。



④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約24%、「バス路線があれば利用する」が約43%と、合わせて約67%が利用すると回答している。

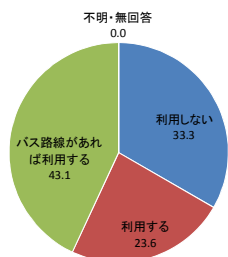


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約96%と大多数を占める。

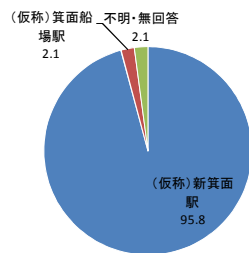


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約63%と多くを占め、その他は「自家用車」が21%である。

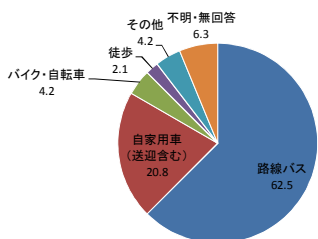


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約44%、「年に数回」が約22%、あわせて約66%を占める。「ほぼ毎日」は約18%、「週に数回」が約13%で、日常的な利用意向は高くない。

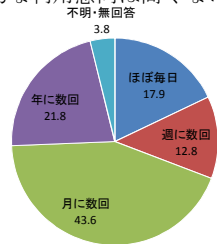


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「20分に1本」の意向が最も高い。

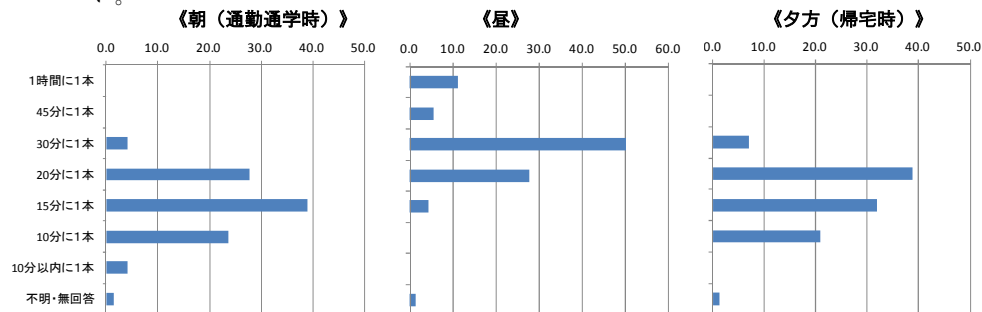


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆今宮周辺のゾーン
- ◆町丁目：今宮1～4、西宿3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：78件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約32%、「女性」が約68%である。

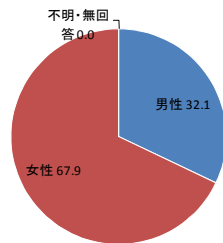


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約19%で最も多いが、ほとんどの年代の割合がいずれも10%台でほぼ同等である。

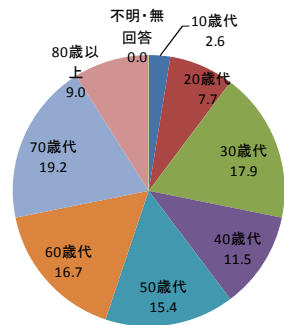


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「無職」が約21%、「アルバイト・パート」が約19%、「専業主婦(夫)」が約17%である。

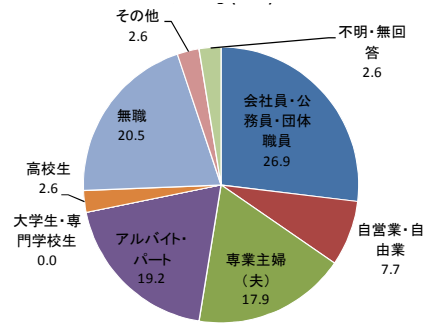


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約87%、「通学」が約4%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約29%、「その他(市外)」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」、「路線バス」、「自転車」、「自転車」、「北大阪急行線」が多く、千里中央駅へ自家用車や路線バスでアクセスしていると考えられる。

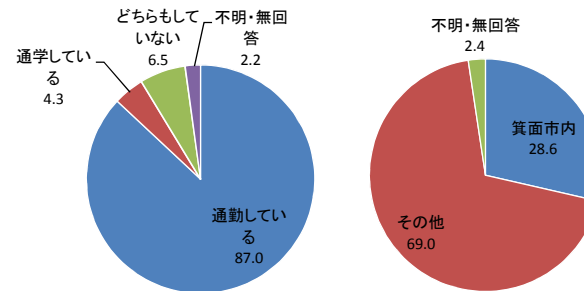


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

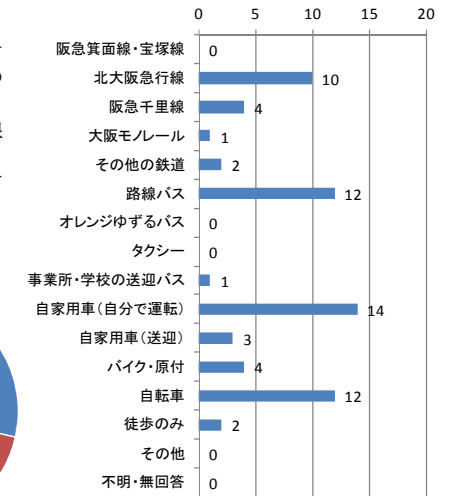


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約56%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が42件と突出して多く、「自転車」が18%、「路線バス」が11%で続く。

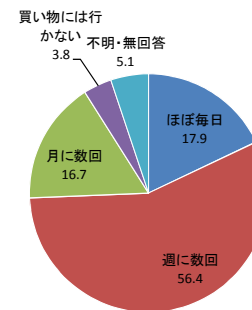


図 日常の買い物の頻度

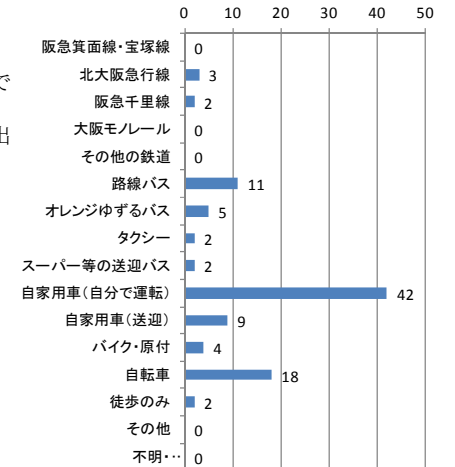


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆①情報提供と⑤乗りやすさは、大変満足とやや満足をあわせた意見が高いが、他の項目は大変不満とやや不満を合わせた意見のほうが、③便数が約39%。②行き先が約32%、④運賃が約25%と高い。

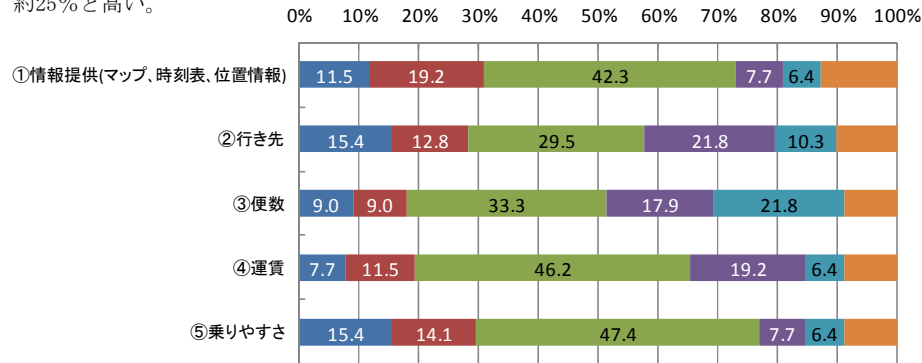


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約71%、「バス路線があれば利用する」が約18%と、合わせて約89%が利用すると回答している。

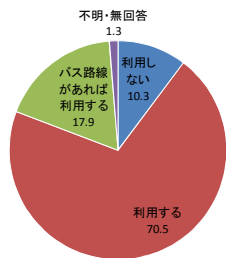


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)箕面船場駅」の利用意向が77%、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約22%である。

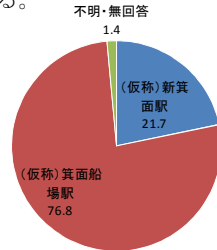


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「徒歩」が約48%、「バイク・自転車」が約25%、「路線バス」は約16%である。

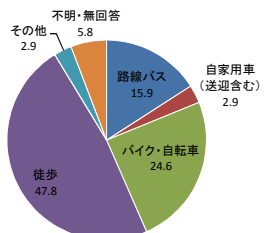


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約40%と最も多く、「ほぼ毎日」が約19%、「週に数回」と「年に数回」が共に約21%である。

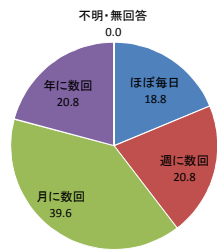


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

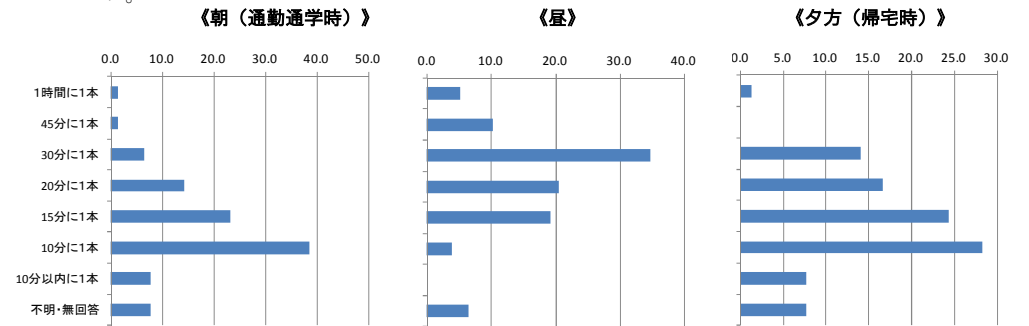
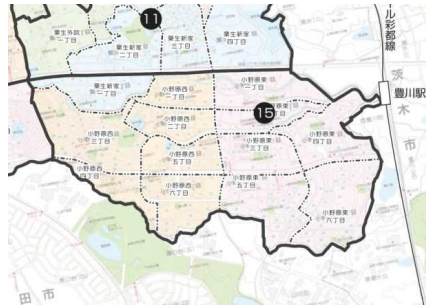


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)

◇ゾーン15：小野原ゾーン

①ゾーン概要

- ◆小野原地域のゾーン
- ◆町丁目：粟生新家1、小野原西1～6、小野原東1～6
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
小野原東線（千里中央～豊川駅）
- ◆アンケート回答数：230件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約48%、「女性」が約52%である。

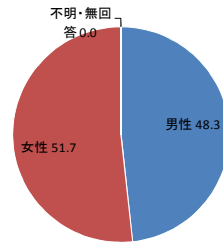


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約18%で最も多く、「50歳代」と「60歳代」が共に約17%、「30歳代」が約14%、「20歳代」が約12%、「70歳代」が11%と、各年代がほぼ同程度に混在している。

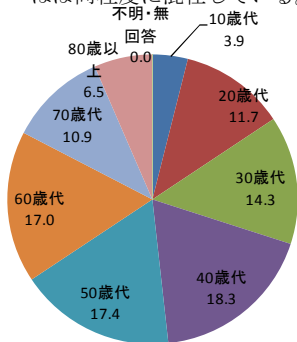


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約30%、「専業主婦(夫)」が約21%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約12%である。

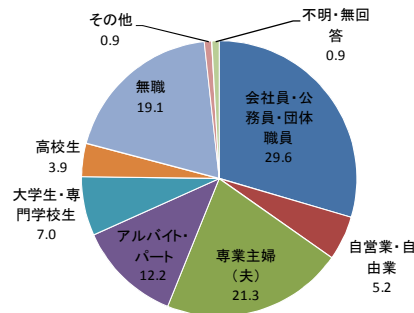


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約73%、「通学」が約19%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約19%、「その他(市外)」が約81%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、公共交通では「阪急千里線」が35件、「路線バス」が34件、「北大阪急行線」が21件と多く、それ以外では「自転車」が33件、「自家用車」が27件と多い。

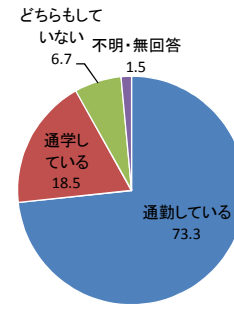


図 通勤・通学の有無

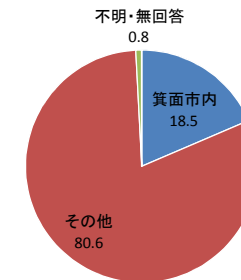


図 通勤・通学の行き先

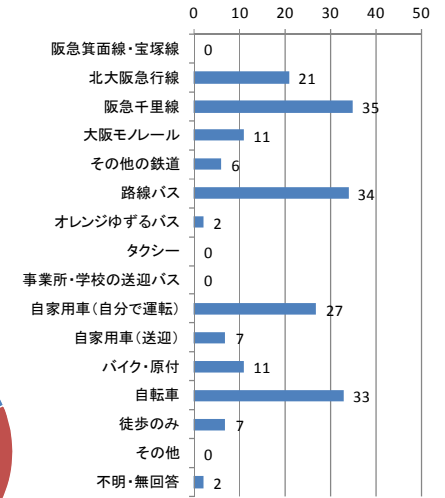


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約56%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が107件と突出して多く、次いで「自転車」が59件で、公共交通機関の利用は少ない。

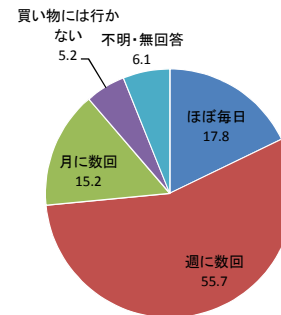


図 日常の買い物の頻度

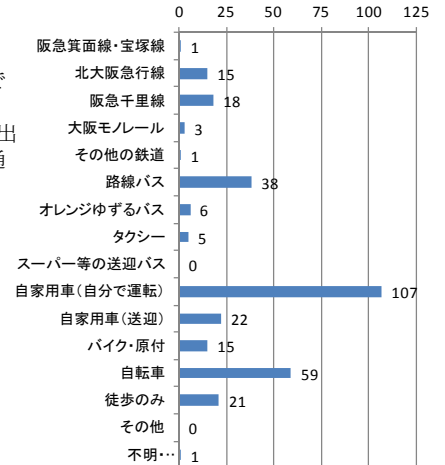


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン15： 小野原ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさは、④運賃は、大変満足とやや満足をあわせた意見が高いが、③便数は、大変不満とやや不満を合わせた意見が約41%で、満足意見を上回る。
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

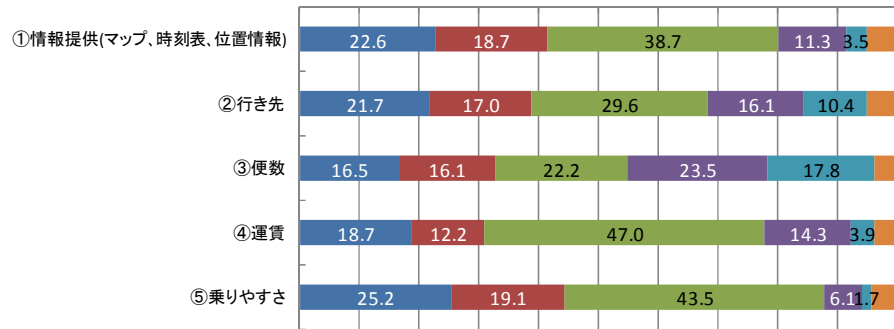


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約27%、「バス路線があれば利用する」が約33%と、合わせて約60%が利用すると回答している。

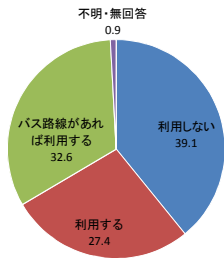


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)箕面船場駅」の利用意向が約51%、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約44%である。

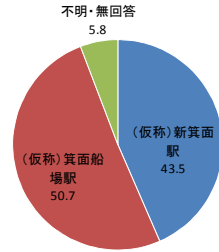


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約51%、「バイク・自転車」が約25%、「自家用車」が約12%である。

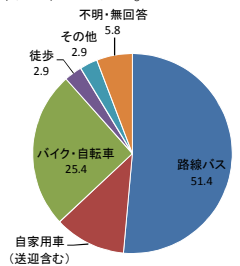


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約42%と最も多く、「年に数回」が約23%、「週に数回」が約19%、「ほぼ毎日」が約13%と、日常的な利用意向は少ない。

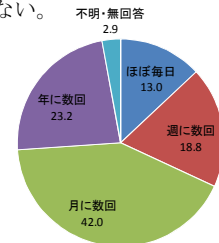


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」と「15分に1本」がほぼ同程度で多く、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

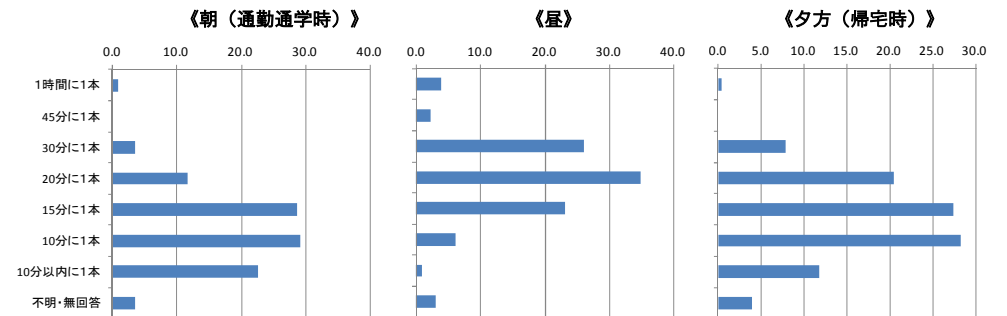


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)

◇ゾーン16：北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆北部地域（箕面森町、止々呂美地域）のゾーン
- ◆町丁目：上止々呂美、下止々呂美、森町中、森町北、森町南、森町西
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
- ◆アンケート回答数：53件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約62%、「女性」が約38%である。

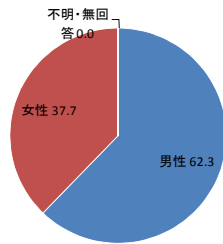


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「30歳代」が約42%で最も多く、「40歳代」と「50歳代」が約17%で、それより若年及び高齢の年齢層は少ない。

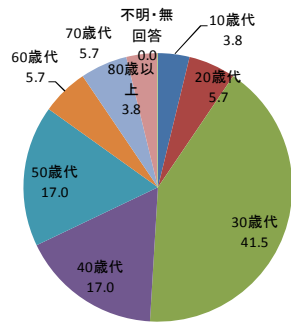


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約51%、「専業主婦(夫)」が約17%、「アルバイト・パート」が約12%である。

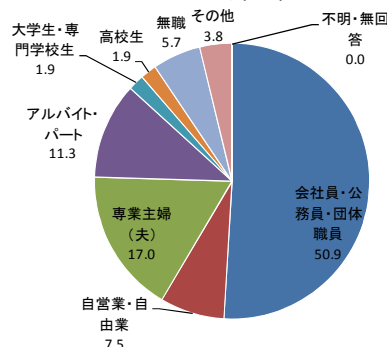


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約83%、「通学」が約5%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約8%、「その他(市外)」が約92%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が18件、「北大阪急行線」が17件、「自家用車」が16件で他の手段は少ない。路線バスや自家用車で北大阪急行線にアクセスしていると考えられる。

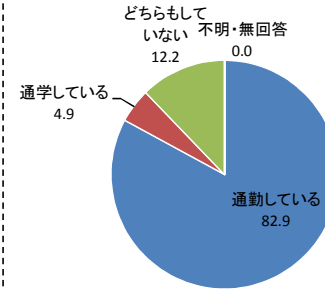


図 通勤・通学の有無

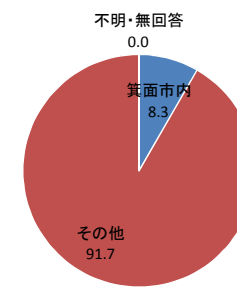


図 通勤・通学の行き先

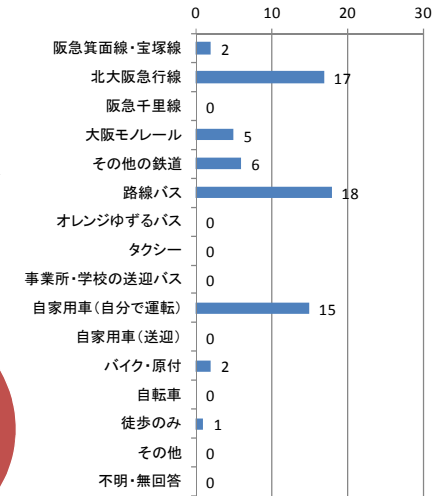


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約6%、「週に数回」が約62%、「月に数回」が約23%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が41件と突出し、「路線バス」が15件、「自家用車(送迎)」が7件で、他の手段はほとんどなく、自家用車への依存が強い。

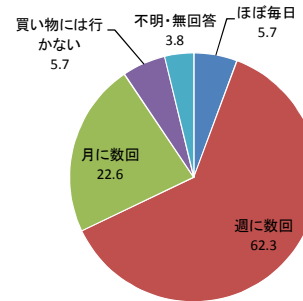


図 日常の買い物の頻度

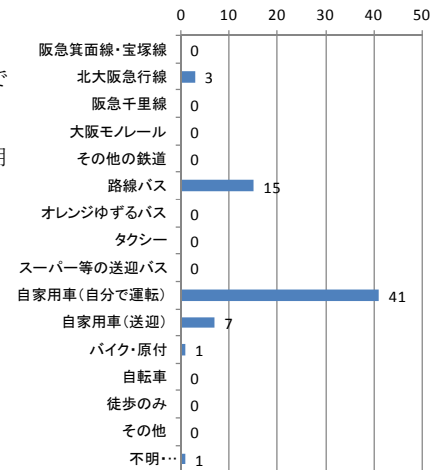


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

③現状の交通行動（続き）

③-3. 路線バスの満足度

◆全体的に、大変不満とやや不満を合わせた不満意見の割合が高く、特に④運賃が約77%、便数が約53%と不満度が高い。

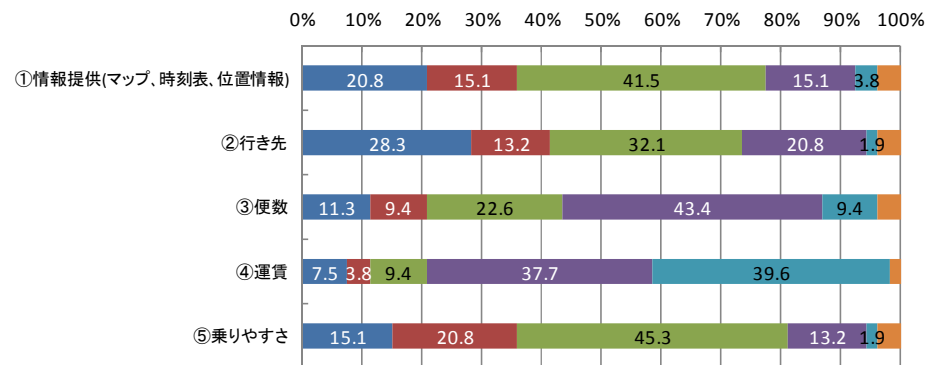


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④-1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約62%、「バス路線があれば利用する」が約19%と、合わせて約81%が利用すると回答している。

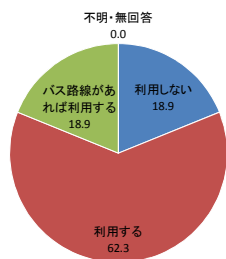


図 延伸区間の利用意向

④-2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約95%と大多数を占める。

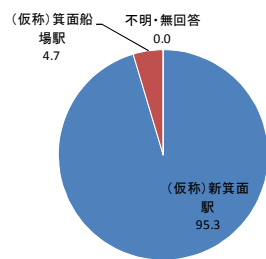


図 主に利用する新駅

④-3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約91%と大多数を占め、その他は「自家用車」が約9%で、他の手段の回答はない。

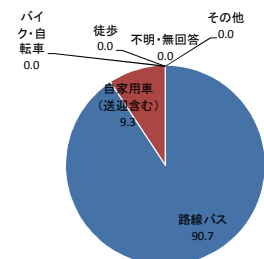


図 新駅までの交通手段

④-4. 延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約38%、「月に数回」が約35%、あわせて約73%を占める。「ほぼ毎日」は約13%、「週に数回」が約9%で、日常的な利用意向は高くない。

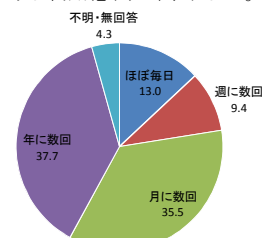


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤-1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

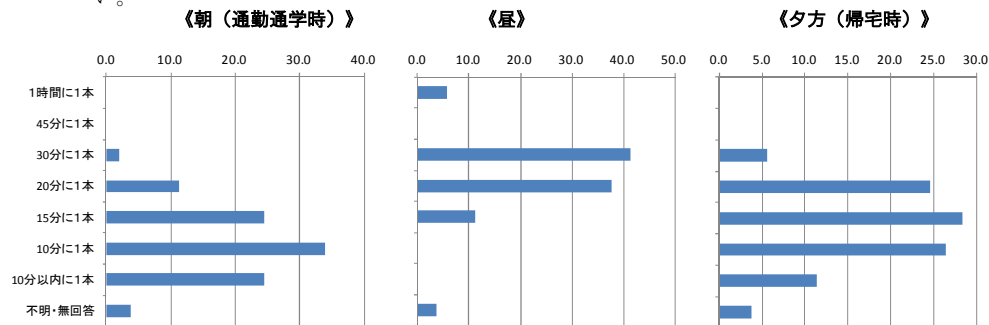


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）